

第1回熊谷市荒川かわまちづくり協議会 次第

日 時 令和6年5月28日(火)

14:00~16:00

場 所 熊谷市立文化センター文化会館 第一練習室

1 はじめに、開 会

2 委員紹介、会長・副会長の選任

3 議 事

(1) 協議会の設立趣旨・規約(案)

資料1

(2) 情報共有

資料2

1) 計画の背景(かわまちづくり、計画の位置づけ、地域特性)

2) 地域のニーズ(ヒアリング結果、市民アンケート調査結果)

3) かわまちづくり基本方針(事務局案)と論点

4) 協議会とワークショップの検討プロセス

(3) 質疑・意見交換 かわまちづくり基本方針について

論点1 かわまちづくりの目標・方針

論点2 計画対象区域の範囲

その他 自由意見

4 今後の進め方、おわりに、閉 会

資料3

【配布資料】

- ・ 次第
- ・ 委員名簿／座席表
- ・ 資料1 協議会について(設立趣旨、規約)
- ・ 資料2 情報共有 熊谷市荒川かわまちづくりについて
- ・ 資料3 今後の進め方について(スケジュール)

以上

熊谷市荒川かわまちづくり協議会 委員名簿(令和 6 年5月 28 日) 12名

役職名	区 分		氏 名	所属
会長	学識経験者		たなか のりお 田中 規夫	埼玉大学大学院 理工学研究科 環境社会基盤専攻 (兼)社会変革研究センター レジリエント社会研究部門
委員	地区を代表する者		のぐち ゆきお 野口 幸雄	荒川自治会連合会
委員	関係団体を 代表する者	商工産業	おかべ さとし 岡部 聡史	熊谷商工会議所
委員			おおさわ しげあき 大澤 重明	一般社団法人 熊谷青年会議所
委員		スポーツ 振興	あかぬま のぼる 赤沼 昇	公益財団法人 熊谷市スポーツ協会
委員		観光振興	のぐち かずと 野口 一都	一般社団法人 熊谷市観光協会
委員		教育	おがわ よしひと 小川 義人	熊谷市立桜木小学校
委員		福祉 子育て	たかはし みか 高橋 美香	熊谷市障害者団体連絡協議会
委員			おおさき さちえ 大崎 幸恵	NPO 法人 子育てネットくまがや
委員		環境	すなが いちろう 須永 伊知郎	公益財団法人 埼玉県生態系保護協会
委員			くりはら たかし 栗原 堯	NPO 法人 熊谷の環境を考える連絡協議会
副会長		市職員		やました かつみ 山下 克己

【事務局】

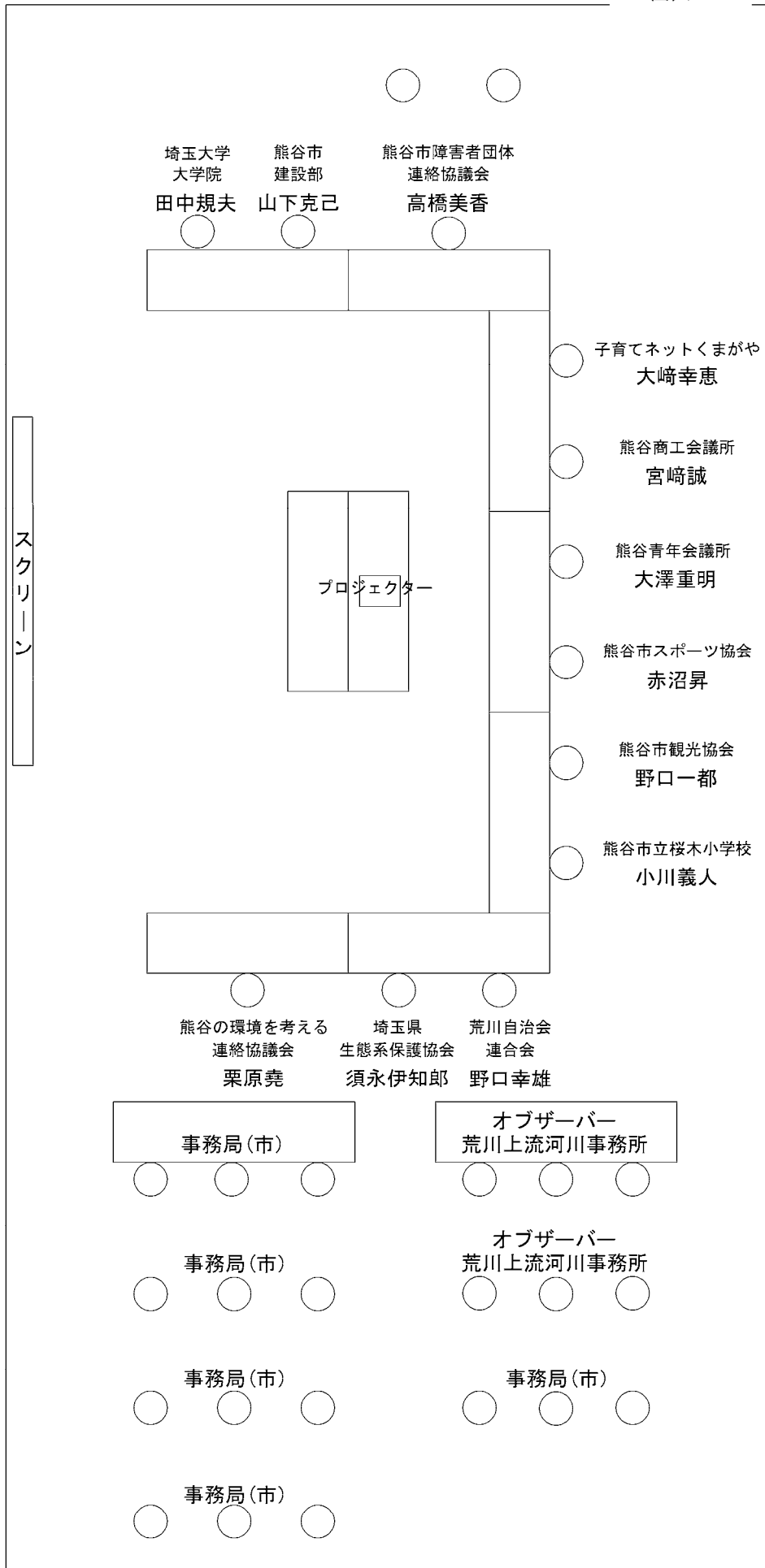
熊谷市 建設部河川課
都市整備部都市計画課
都市整備部公園緑地課
産業振興部商業観光課
総合政策部スポーツタウン推進課

【オブザーバー】

荒川上流河川事務所 流域治水課
河川環境課
徳島大学客員教授 澤田 俊明

座席表

出入口



熊谷市荒川かわまちづくり協議会 規約(案)

(目的及び設置)

第 1 条 河川空間とまちの空間が融合した魅力ある地域を創出する取組を実現するため、地域の資源である河川の活用について、今後の方向性及び具体的な手法についての検討を行うことを目的に、熊谷市荒川かわまちづくり協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(組織)

第 2 条 協議会は、委員 20 人以内をもって組織とする。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 環境協会
- (3) 商工会議所
- (4) 青年会議所
- (5) 自治会
- (6) その他市町が必要と認める者（学校、スポーツ協会、観光協会、福社会等）

(任期)

第 3 条 委員の任期は、2 年とし、再任を妨げない。

(会議)

第 4 条 協議会の会議は、必要に応じて市長が招集する。

2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 市長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

4 会議は、原則公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障があると市長が認めるときは、非公開とする。

(会長及び副会長)

第 5 条 協議会に会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(部会)

第 6 条 協議会は、第 1 条に掲げる目的に関する事項を専門的に調査・検討するため、必要に応じて部会を置くことができる。

2 部会は、委員のうちから会長が任命した者をもって組織する。

3 部会に、部会長を置く。

4 部会長は、部会員の互選により選出する。

5 部会長は、部会を代表し、部会の事務を総理する。

6 部会の会議は、会長が招集する。

7 部会は、会長の承認を得て解散することができる。

(守秘義務)

第 7 条 会員は、協議会を通して知り得た情報及び機密情報について各々の責任において管理し、第三者に漏洩してはならず、協議会を退会した後も同様とする。ただし、協議会が認めた場合、またはその情報及び機密情報が公表されたとき以降は、この限りでない。

(庶務)

第 8 条 協議会の庶務は、建設部河川課が処理する。

(その他)

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この規約は、令和 6 年 5 月 28 日から施行する。

目次

1) 計画の背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2) 地域ニーズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
3) かわまちづくり基本方針（事務局案）と論点・・・・ 19
4) 協議会とワークショップの検討プロセス・・・・・・ 21

《 参考資料 》

- ・かわまちづくり支援制度
- ・かわまちづくり参考事例
- ・現状の利用状況
- ・熊谷市荒川かわまちづくりワークショップ要領（案）
- ・ヒアリング結果
- ・市民アンケート調査結果

1) 計画の背景(かわまちづくり)

➤ かわまちづくり計画の目的

- ・近年、河川空間は水辺の持つ自然環境や親水空間としての機能が見直され始め、全国でまちづくりに水辺を活用する「かわまちづくり」の取組が広がっています。
- ・「かわまちづくり」は、「河川」とそれに繋がる「まち」を活性化するため、地域の景観、歴史、文化、観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、**市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した賑わいある良好な空間形成を目指すものです。**

➤ **かわまちづくり支援制度**（平成21年度創設 令和5年8月時点：264地区登録）

- ・必要なハード・ソフトの整備に対し、河川管理者の支援が受けられる「かわまちづくり支援制度」が創設されています。
- (主に、まちづくりと一体となった治水及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備、民間の営利活動が可能となる「都市・地域再生等利用区域の指定」の支援)
- ・令和6年度より、「水辺整備」と自然環境を保全・創出する「自然再生」の一体的な取組や、こどもが安全に自然に触れられる「かわまちづくり」を促進する制度に改訂されています。



出典：https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/96519_1.pdf 1

1) 計画の背景(計画の位置づけ)

➤ 計画の位置づけ

【第二次熊谷市総合振興計画】

将来都市像：

子どもたちの笑顔があふれるまち熊谷
～輝く未来ヘトライ～

関連政策：

スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
健康で安全・安心にくらせるまち
人にやさしい思いやりのあるまち
環境にやさしく自然が豊かなまち
快適で暮らしやすいまち
地域に根ざした教育・文化のまち
市民と行政が協働して創る満足度の高いまち

【第二次熊谷市総合振興計画】

【熊谷市都市計画マスタープラン】

将来都市像：未来に向かって人や地域がまとまり・つながるまち くまがや
地域の将来像：ヒト・モノが集まり、めぐること
で、誰もが暮らしやすい地域
関連施策：スポーツ・文化・健康拠点の機能充
実、水辺・緑の活用促進・保全・整備

【地域防災計画】

基本的視点：地震及び風水害に強い都市構造
の形成、避難地の確保、地域防災力の向上

【健康熊谷21・熊谷市第四次健康増進計画】

基本理念：市民一人一人が行う健康づくりを、
地域社会で支援することにより、『健康で安全・
安心に暮らせるまち くまがや』を目指し
ます。
関連施策：運動しやすいまちづくりの推進、社
会環境の整備（健康教育・地域の取組促進）

【熊谷市スポーツ推進計画】

基本理念：スポーツ熱中、生き生き熊谷
関連施策：市民がスポーツを実践する楽しさを
味わえる機会の充実、気軽に健康・体力づくり
を行える環境づくり、スポーツ活動の推進、大
会誘致、スポーツツーリズムの推進

【熊谷市環境基本計画】

将来の環境像：豊かな自然 未来へ育み伝える
まち 熊谷
環境目標：環境資源を大切にするまちを創りま
す、環境の保全・創造に寄与する人を育てます

【熊谷市緑の基本計画】

将来都市像：子どもたちへ 緑を育み守るま
ち熊谷
関連施策：市街地と荒川を結びネットワー
クの形成、荒川の水と緑に触れ合うことので
きる空間づくり

【熊谷自転車活用推進計画】

基本目標：快適・健康・にぎわい・安全サイ
クルシティ熊谷～誰もが健康で安全・快適に自
転車を利用できるにぎわいと回遊性のあるまち～
関連施策：自転車を活用した健康づくりの
推進・回遊性のあるまちづくりの推進

【熊谷市バリアフリー基本構想】

基本理念：心つながる 人にやさしいまち 熊谷
～ユニバーサルデザインのまちづくりの推進～
関連施策：熊谷駅周辺重点整備地区、道路、都
市公園のバリアフリー化、心のバリアフリー

国(河川計画)

【荒川水系河川整備計画(大臣管理区間)】
河川整備計画上の整備メニュー
荒川大橋下流の左岸約2km区間は、計画流量に
対する堤防の標準的な幅(現況幅4m程度)又は
高さの不足が見込まれる区間であり、堤防
嵩上げ・拡幅の検討が必要

【荒川公園周辺再整備計画】
再整備のコンセプト：スポー
ツ文化で人を呼び込む駅前交
流拠点

連携

整合

熊谷市荒川かわまちづくり計画

1) 計画の背景(計画の位置づけ)

➤ 計画対象エリア

- ・図中a～gは関係者ヒアリングで対象範囲に関する意見のあった場所を示しています。
- ・関係者へのヒアリングによる地域ニーズや実現性を踏まえ、コアエリアと将来活用エリアを設定しました。

A-2	計画範囲	・環濠(荒川大橋～グラウンド)がやややす い範囲と考える	a
		・対岸(右岸)エリアを含めて整備する計 画としてほしい	b
		・熊谷駅南口エリアのまちづくりとの連携 が必要(河川公園、新体育館、図書館、文 化会館等)	c
		・駅からかわまちまでの歩行者動線が重要	c
		・かわまち、南口エリア、北口エリアの一 体化(歩行者動線)する視点が重要	d
		・富士山の見える久下橋の方までつなが った遊歩道、東庭、トイレ、水溜等の休憩 施設があると良い	e
		・荒川大橋から久下橋までの区間を舟下り ができたりすると良い	f
		・河川敷地内から万平公園までを含む範囲 へ拡大してほしい。歩行者動線が整備され ていると利用しやすい	g

(参考資料「ヒアリング結果」かわまちづくりの意見)

コアエリア

複数の意見区分が重なるエリアで、
当事業の核として位置付けるエリア

将来活用エリア

複数の意見を包括した範囲で、当事
業の効果が様々なかたちで期待でき
るエリア



1) 計画の背景(計画の位置づけ)

➤ 計画対象エリア周辺のまちづくりの方針

- ・ 荒川（計画地）は、県北最大の交通結節点「**熊谷駅**」から**徒歩5分の位置**に立地しています。
- ・ 熊谷駅周辺は市のまちづくりの中心を担う「**都市拠点**」に、荒川計画地周辺は「**スポーツ・文化・健康拠点**」に該当し、**交流人口拡大を図る重要なエリア**です。
- ・ 荒川は「**水辺の軸**」に該当し、**自然に親しみながら潤いや解放感を感じ、スポーツ・観光・文化を楽しむことができる空間、日常生活でスポーツ等を楽しむ、地域に愛着を感じる空間**を目指す方針となっています。
- ・ 人口減少に対応した持続可能なまちづくりに向け、**新たな交流拠点整備を契機に、都市拠点としての魅力向上に資するかわまちづくりを推進**する必要があります。



出典：熊谷市都市計画マスタープラン（令和4年3月）

4

1) 計画の背景 地域特性① 水辺の魅力

➤ 荒川の水辺空間の魅力

- ・ 荒川の自然と秩父の山並み、春の美しい桜堤、ラグビーなどのスポーツを楽しむ人々によって創り出される風景が、**熊谷市民に親しまれる故郷の風景**となっています。
- ・ 荒川の豊かな自然環境は、**荒川の自然資源を繋ぐ回廊、また都市の生物多様性の保全や、暑さを和らげる涼、温室効果ガスの吸収等に寄与する貴重な緑地・水辺空間**となっています。
- ・ 河川空間の利用にあたり、「荒川河川敷の保全と利用のあり方（国土交通省）」の主旨を踏まえ、**自然環境の保全に十分配慮する必要があります**。
- ・ 市民および地域住民に、春の桜祭り、夏の花火大会の**イベント利用**、荒川緑地や堤防道路を活用した**スポーツ利用や散歩やサイクリング等の健康づくり、隣接する学校の校外学習等**に利用されています。



風景（秩父連山の山並み）



熊谷桜堤



礫河原と野鳥の飛来



低水路の可岸に茂る植生



荒川の緑地・水辺空間



花火大会



散歩・自転車利用



近隣小学校の持久走大会

5

1) 計画の背景 地域特性② 歴史・観光資源

➤ 熊谷の発展・暮らしを支えてきた川 荒川

- ・熊谷は荒川の中流域に位置し、江戸時代より、**荒川は農地を潤す用水、穀物の製粉や絹産業を支えるを動力（水車）、物資の輸送（舟運）、休憩の憩いの場**として利用され、人々の暮らしには欠かせない存在。
- ・荒川の洪水から熊谷のまちを守ってきた**治水の歴史**（荒川の西遷、旧熊谷堤）
- ・荒川と中山道が熊谷（まち）の発展を支えてきた**物流・利水の歴史**（江戸との舟運・農業用水）
- ・浮世絵に描かれている**中山道中の御狩屋の賑わい**（来訪者との交流の場、渡し）

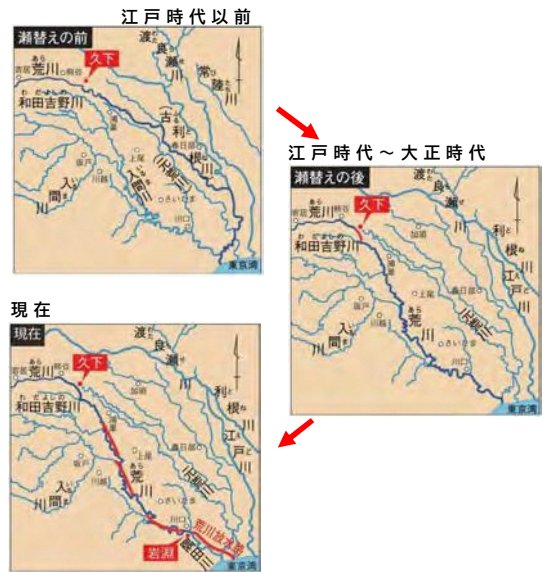
【荒川の舟運】



「荒川の西遷(せいせん)」により開発された舟運（物資の大量輸送）は、大都市・江戸の繁栄を支え、熊谷は江戸の発展を支える広大な農産地、絹産地、江戸との物流の交通の要所として発展。

出典：荒川上流改修80年の歩み

【荒川の西遷】



出典：荒川上流河川事務所ウェブサイト

新田開発、舟運路の確保、江戸の洪水の防御などを目的として、江戸時代に熊谷市久下付近で荒川を締め切り、現流路に河川を付け替える大規模な土木事業が行われた。

1) 計画の背景 地域特性② 歴史・観光資源

➤ 荒川の恵みと暮らしの関わり（利水）

- ・**用水利用では**、荒川から取水するために、江戸時代初期に奈良堰をはじめとして6つの堰をつくり新田開発が進められました。
- ・一方で荒川は渇水で水不足になることも多く、そのたびに**水をめぐって農民同士の争い**が多発していました。
- ・今は水争いの解消や、安定した水を確保するため、昭和14年に六つの堰を統合する形で旧六堰頭首工が完成し、取水した農業用水は、大里用水を経て下流の**深谷市、熊谷市、行田市、鴻巣市に至る県北の一大農産地を潤しています。**



出典：埼玉県ウェブサイト

荒川の恵みによる歴史・文化

- 安定した農業用水
⇒水田裏作を中心とした**米と麦の二毛作が盛んに。**
- 荒川の河原に県で初めて桑の栽培開始
⇒新川村を中心に**養蚕技術が発展、熊谷「絹の里」**
- 荒川の水を利用する染物
⇒**熊谷染（県指定伝統手工芸品）**
- 荒川の水の流れを活用した**水車小屋（動力利用）**
⇒米麦の製粉、生糸生産・織物・染物などの手工業生産を支える



熊谷染め



水車小屋(押切)昭和初期頃
熊谷の昭和初期頃の農村風景
(六本の幹線用水路とその支流に56箇所)

出典：熊谷市ウェブサイト

現在も、荒川の豊かな恵みが暮らしを支えています

- ・農業用水⇒伝統の熊谷産小麦を用いた**「熊谷うどん」が名物**
- ・豊富な地下水⇒**市水道の7割は地下水**により賄う
- ・おいしい水道水
⇒**「雪くま」暑い熊谷の新たな名物**



暑い熊谷を盛り上げる観光資源 雪くま
出典：熊谷市ウェブサイト

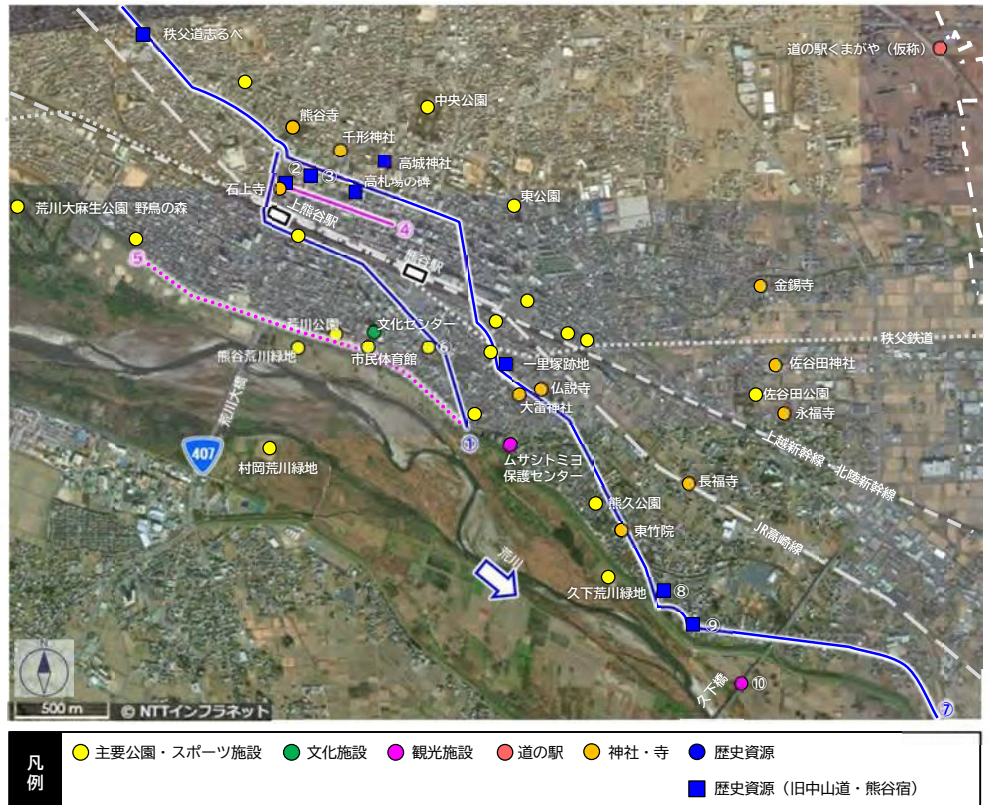


出典：熊谷観光局ウェブサイト

1) 計画の背景 地域特性② 歴史・観光資源



資源マップ (見どころ・名所)



8

1) 計画の背景 地域特性② 歴史・観光資源



出典：『第2次熊谷市総合振興計画 後期』 熊谷市、『熊谷市中心市街地活性化基本計画(案)』熊谷市
『熊谷市中心市街地活性化基本計画(案)』熊谷市、熊谷市HP

9

1) 計画の背景 地域特性③ 自然環境

➤ 熊谷市荒川の自然環境

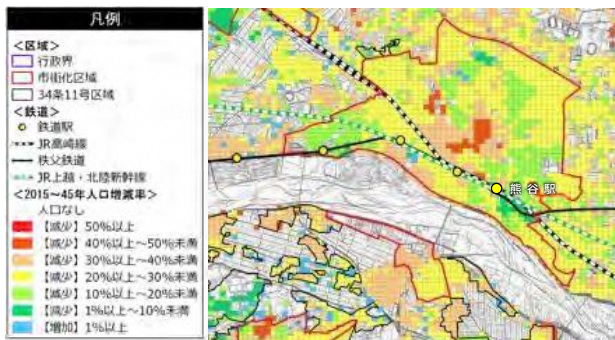
- ・荒川は秩父山地の甲武信ヶ岳を源とし東京湾まで流れる河川です。
- ・計画地は荒川の扇状地(扇端部)に位置し、**豊富な水と肥沃な大地**により、自然環境が形成されています。
- ・上流から下流までの様々な河川環境に応じた生物が生息・生育しており、計画地には、中流部の**砂礫河原特有の生物が生息・生育**しています。
- ・**荒川の連続する広大な河川空間**は、こうした上下流の多様な自然を繋ぐ回廊としての役割を担っています。
- ・計画地の上流には、県内でも有数の**野鳥の渡来地**となっている**「野鳥の森」**があります。



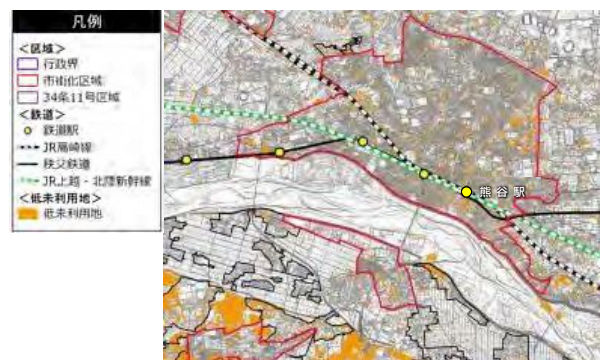
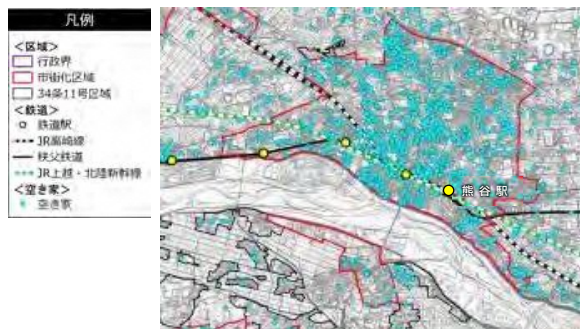
10

1) 計画の背景 地域特性④ 地域課題

➤ まちの課題(人口減少・土地利用(空き家・低未利用地の状況))



- ・駅周辺の人口増減の状況(2015~2045年人口増減率)より、市全体で人口が減少し、都市拠点である熊谷駅周辺においても10~30%減少することが見込まれています。
- ・低未利用地の状況、空き家の状況(R2.3市調査)より、熊谷駅南口および中心市街地において、近年は小規模な低未利用地や空き家が目立つようになっているため、魅力や賑わいの向上を図る取組が求められています。



11

1) 計画の背景 地域特性④ 地域課題

➤ まちの課題（災害リスク）



【荒川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)】

出典: <https://plateauview.mlit.go.jp/>



【揺れやすさマップ】

出典: 熊谷市ウェブサイト

- ・洪水ハザードマップでは、**荒川が氾濫した場合に浸水被害（（浸水深0.85m 家屋倒壊等氾濫区域（想定最大規模））の発生が見込まれるエリア**となっています。
- ・計画地の堤防は暫定形状で未完成であるため、今後、**洪水に対し安全な施設として完成堤防としての整備（拡幅、嵩上げ）が必要**となっています。
- ・気候変動の深刻化、高齢化や単身世帯の増加、地域コミュニティの希薄化に対応し、**想定を超える災害への備えの充実、流域治水の取組推進、自助や共助の意識向上が必要**となっています。
- ・荒川緑地は、**地域の消防救急活動（ヘリポート）**に利用されているほか、地震による大きな火災が発生した場合などの大規模な避難にに適した**広域避難場所に指定**されています。

12

1) 計画の背景 地域特性④ 地域課題



イベント時の混雑状況



計画地への主要アクセス路
(荒川公園方向)



イベント時の混雑状況



道路状況(歩道、幅員、交通事故)



出典: 交通量: 令和3年度一般交通量調査結果
事故データ: 埼玉県警察 事件事故発生マップ(全事故2021~2024.2)

用途地域: 国土数値情報 令和元年データ
都市機能誘導区域・居住誘導区域: 熊谷市立地適正化計画令和4年
ベース地図: 国土地理院基盤地図情報

13

2) 地域ニーズ(ヒアリング)

➤ 関係者ヒアリング結果

意見区分と意見数・団体数(参考資料「ヒアリング結果」)

意見区分	意見数	団体数	意見区分	意見数	団体数
A:かわまちづくり計画への考え方	22	11	G:市民の健康づくり推進	6	5
B:安全、安心に暮らせるまちづくり	3	3	H:スポーツの魅力や文化の発信	14	11
C:快適で暮らしやすいまち(暑さ対策、住環境保全)	8	7	I:子育て支援の環境づくり	11	7
D:環境に優しく自然に優しいまち	18	8	J:維持管理、運営、官民連携による管理	9	5
E:活気と賑わいのある魅力的なまち	29	15	K:地域の文化、歴史の継承	4	3
F:子供、高齢者、障がい者の誰もが暮らしやすいまち	11	8	L:その他	1	1

例:意見区分 E(活気と賑わいのある魅力的なまち)

意見区分	大	中
	計画範囲全般	
E-1	河川敷地内の魅力の充実	
E-2	休憩拠点の充実	
	堤防、堤防上の道路、坂路、階段	
E-3	・堤防幅による体育館(建替え)や荒川公園との一体整備、賑わい空間の創出	
E-4	・イベント時の雑踏事故防止に配慮した動線整備	
E-5	・堤防法面の階段式護岸(観覧席)の整備	
	水辺、河原	
E-6	・水辺の魅力の充実	
E-7	・花火大会の観覧席の充実	
	自由広場、ラグビー場(有料)、グラウンド	
E-8	・自由広場のイベント利用	
	高水敷全般(グラウンド、広場、河原)	
E-9	・高水敷地内の魅力の充実(アウトドア・バーベキュー)	
E-10	・高水敷地内の魅力の充実(四季を彩る花)	
E-11	・高水敷地内の魅力の充実(イベント利用の推進)	
E-12	・音楽利用(練習等)	



14

2) 地域ニーズ(市民アンケート調査)

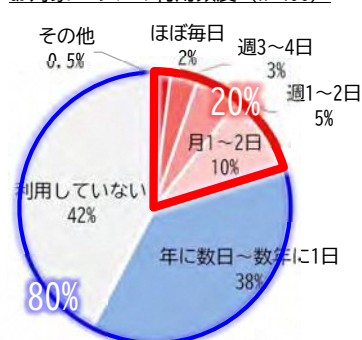
➤ 市民アンケート調査結果概要

- ・期間 : 2023年11月20日～2023年11月30日
- ・対象 : 熊谷市内の在住者
- ・調査方法: Webモニターアンケート
- ・回答数 : 400人

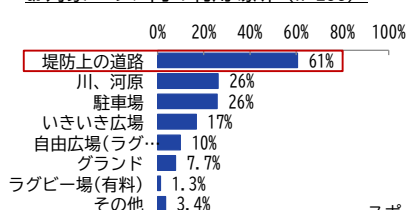
➤ 対象エリアの利用状況

- ・対象エリアを月1～2日以上利用している人が約20%、年に数日～数年に1日以下の人が約80%と利用頻度が少ない。
- ・利用者の約50%が堤防上の道路を散歩やジョギング利用や、お祭り・イベント利用を目的としている。

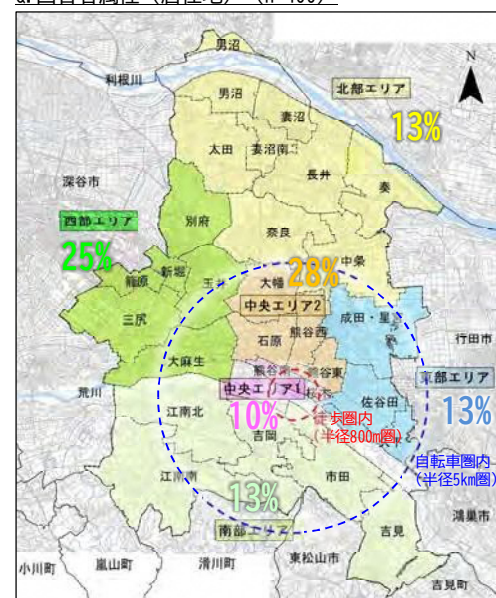
Q. 対象エリアの利用頻度 (n=400)



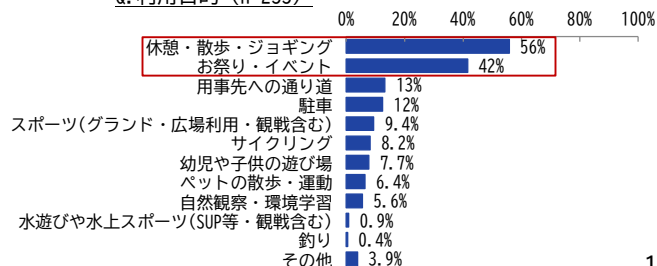
Q. 対象エリア内の利用場所 (n=233)



Q. 回答者属性(居住地) (n=400)



Q. 利用目的 (n=233)



15

2) 地域ニーズ(市民アンケート調査)

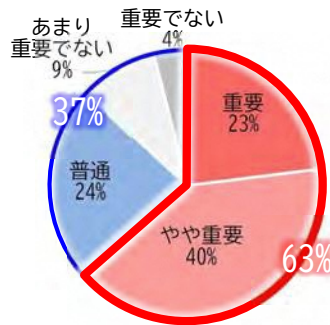
魅力について

- 河川空間へのニーズは、「**散歩・ジョギング・サイクリングの魅力の充実**」や「**休憩施設の充実**」、「**駐車場や坂路の整備**」のニーズが高い。

かわまちづくり計画について

- 対象エリアの水辺空間の活用が熊谷市の活性化に**重要と考えている人が約60%と半数以上**である。
- かわまちづくり計画に期待することとして、「**安心・安全に暮らせるまちの推進**」を1位で選ぶ人が最も多く、防災への関心が高い。第1～3位の合計の回答が多い項目として、順に「**快適で暮らしやすいまちづくり**」、「**環境に優しく自然豊かなまちづくりの推進**」が選ばれている。

Q. 熊谷駅周辺の賑わい創出や魅力の向上に、荒川の水辺空間の魅力を活かす取組みは重要だと考えるか。
(n=400)



Q. 対象エリアの魅力の充実に向け、良くなってほしいこと (n=400)

	1位	2位	3位	合計
散歩・ジョギング・サイクリングの魅力の充実	65	65	35	165
休憩施設の充実(ベンチ、東屋など)	56	57	44	157
駐車場や坂路の整備	45	44	56	145
ゴミ対策や治安対策	47	36	34	117
夏場の暑さを和らげる親水施設の充実(せせらぎ水路・水遊び場など)	24	32	42	98
市民の憩いの場の充実(マルシェ、地域イベント、カフェ)	29	27	39	95
子供の遊び場の魅力の充実	34	22	25	81
バーベキューやキャンプの利用	26	22	27	75
自然との共生、環境学習の充実	15	26	33	74
バリアフリー環境の充実(スロープ、手すり、多機能トイレ)	19	29	20	68
スポーツ利用の魅力の充実、スポーツ文化の発信拠点	18	18	20	56
ドッグランなどペットとの触れ合いの魅力の充実	10	10	10	30
水上スポーツや釣りの魅力の充実	5	8	11	24
その他	7	4	4	15

Q. 熊谷市荒川かわまちづくり計画に期待すること (n=400)

	1位	2位	3位	合計
安心・安全に暮らせるまちの推進	150	56	53	259
快適で暮らしやすいまちづくりの推進	50	73	60	183
環境に優しく自然豊かなまちづくりの推進	43	45	59	147
活気と賑わいのある魅力的なまちの推進	48	49	33	130
子供、高齢者、障がい者等の誰もが暮らしやすいまちの推進	29	65	27	121
市民の健康づくりの場の推進	23	47	35	105
スポーツの魅力や文化の発信	14	15	52	81
子育て支援の環境づくりの推進	25	25	27	77
地域の文化・歴史の継承	9	10	26	45
地域コミュニティづくりの推進	6	12	25	43
その他	3	3	3	9

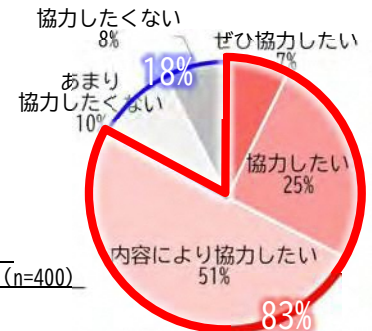
16

2) 地域ニーズ(市民アンケート調査)

協力意向

- 魅力ある河川空間の充実や維持のためのイベント開催や維持管理へ**約80%の市民から協力的な意向が示されている**。

Q. 魅力ある河川空間の充実や維持のため、イベント開催や維持管理への協力意向 (n=400)



※小数点以下四捨五入のため総計が100%とならない

自由意見

意見区分	意見数	主な意見の概要 ※()内の数値は意見数を示す
河川空間の利活用に関する意見	64	防災・治水対策(9)、自然環境の維持、創出(8)、親水・川遊び(6)、祭り・イベントの開催(4) 健康増進・散歩・ジョギング(4)、釣り(4)、アクセスの充実(動線、公共交通、渋滞改善)(4) 施設・トイレの整備(4)、駐車場の整備(3)、誰もが過ごせる・利用したいと思える場づくり(3) 子供が川遊びできる等(3)、堤防道路や河川敷地内の歩行者の安全対策(3) アウトドア・スポーツを楽しむ場(3)、ある場所の有効活用(3)、桜並木の保全維持(2) 公園樹木の保全(1)
まちづくりの方向性	13	賑わい、魅力、行きたいと思えるまちづくり(4)、自然豊かな景観を活かしたまちづくり(3) 独自性・持続性、未来を見据えた開発(2)、来訪者を呼び込むまちづくり(1) 誰もが楽しめるまちづくり(1)、誰もが安全安心なまちづくり(1)、よりよいまちづくり(1)
管理・マナー対策	9	適正な管理、増水時の対応(4)、治安維持(3)、ゴミやマナー対策(2)
計画づくりの進め方	9	市民・住民意見の反映、市民のための計画づくり(5)、市民への説明、関心(4)
河川空間の利活用への参加意向	6	参加協力したい(3)、清掃・美化運動の市民参加の環境づくり(3)
税金、予算	7	税金の使い方、有効な活用(5)、予算確保の方法(2)
その他	3	何も期待していない(1)、利用することはない(1)、大麻生方面にも力を入れてほしい(1)
合計	111	備考: 289人は特になしと回答

17

3) かわまちづくりの基本方針(事務局案)

➤ 地域課題

・課題1：熊谷らしさ（地域の魅力）の充実、情報発信、まちへの愛着の醸成

地域資源を活かす（水辺の魅力、観光資源、自然環境、歴史文化）

・課題2：都市拠点の魅力・活力の充実による定住促進、多様な人の交流拡大

熊谷駅南口周辺には駐車場等の低未利用地が多く点在。

人口減少の更なる深刻化の抑制に向け、都市拠点としての必要な魅力（活力・教育・文化）、利便性（ユニバーサルデザイン）を備え、健康に暮らせるまちの環境整備の充実が必要。

・課題3：荒川の豊かな自然環境の保全と継承

地球温暖化対策（「ゼロカーボンシティくまがや」の宣言への対応、暑さ対策）

荒川の自然環境の保全と継承、自然環境保全の担い手確保

子どもたちが安全に荒川の自然環境と触れ合える空間の充実が必要

・課題4：かわ・まち・駅空間の一体的な安全・安心まちづくり（ハード・ソフト）

浸水リスク（浸水深0.85m 家屋倒壊等氾濫区域（想定最大規模））への対応。

気候変動の深刻化、高齢化や単身世帯の増加、地域コミュニティの希薄化に対応し、想定を超える災害への備えの充実、流域治水の取組推進、自助や共助の意識向上が必要。

18

3) かわまちづくりの基本方針(事務局案)

論点1

➤ 熊谷市荒川かわまちづくりの目標・方針

地域と共創、地域の安全安心への寄与のもと、荒川の豊かな自然環境の保全と継承に配慮し、スポーツや健康づくり、自然との触れ合いを通じた新たな交流が生まれることによる地域の活性化、熊谷らしさやつながりが感じられる空間創出と、地域の方々の日常利用の充実により、まちへの愛着の醸成、定住促進を目指します。

➤ 熊谷市荒川かわまちづくり方針

対応方針	
基本方針1 地域と共創 地域との共創により、地域の魅力、愛着と誇りを育むかわまちづくりを目指します。 ※課題1、2、3対応	整備方針1-1 熊谷らしさ、つながり ・熊谷らしさ（水辺やまちの魅力、観光資源、自然環境、歴史文化）を活かし、地域の魅力を充実する空間づくりを目指します。 ・多様な世代の人との出会いと交流を育む憩いの空間の創出を目指します。
	整備方針1-2 地域振興・健康づくり ・荒川の自然の中で、誰もが自由にスポーツや健康づくりを楽しむ空間の創出を目指します。
	整備方針1-3 自然環境・風景 ・荒川と山並みによって創り出す美しい風景を守るとともに、生物多様性の保全や温室効果ガスの吸収等に寄与する都市空間における貴重な緑地・水辺空間である荒川の豊かな自然環境を保全・継承します。 ・未来を担う子供たちが荒川の自然環境と触れ合える空間を充実し、自然環境を守り育てる担い手づくりを目指します。
基本方針2 安全・安心 地域の安全・安心に寄与します。 ※課題4対応	整備方針2-1 安全・安心 ・堤防整備（嵩上げ・拡幅・側帯盛土）により、洪水時の災害リスクを減らし地域の防災力を高めます。
	整備方針2-2 水害・災害学習 ・過去の水害の歴史、災害リスクを学習し、災害を自分事化し、地域の防災・減災対策を地域と行政が一体となって考え、取り組むことを目指します。

19

計画対象エリア

- ・ 図中a～gは関係者ヒアリングで対象範囲に関する意見のあった場所を示しています。
- ・ 関係者へのヒアリングによる地域ニーズや実現性を踏まえ、コアエリアと将来活用範囲を設定しました。

A-2	計画範囲	・ 荒川(荒川大橋～グランド)がやりやすい範囲と考える	a
		・ 近年(石巻)エリアを基盤として整備する計画(石巻市)がある	b
		・ 荒川河口エリアのまちづくりとの連携が必要(荒川河口、新体育館、図書館、文化広場等)	c
		・ 新からかわまちづくりの歩行者動線が重要	d
		・ かわまち、南口エリア、北口エリアの一帯(歩行者動線)する地点が重要	e
		・ 荒川大橋から久下橋までの区間を歩行者動線として活用	f
		・ 荒川大橋から久下橋までの区間を歩行者動線として活用	g

(参考資料「ヒアリング結果」かわまちづくりの意見)

コアエリア

複数の意見区分が重なるエリアで、当事業の核として位置付けるエリア

将来活用エリア

複数の意見を包括した範囲で、当事業の効果が様々なかたちで期待できるエリア



20

4) 検討プロセス

「熊谷市荒川かわまちづくり」で議論すべき論点(案)

議論の場：かわまちづくり協議会、ワークショップ等

○論点1：方針

- ・ 計画地周辺の河川環境、まち環境をもとにどのような方針を示すか。
- ・ 論点1は、論点2に相互に影響する。

○論点2：かわまちづくりの範囲

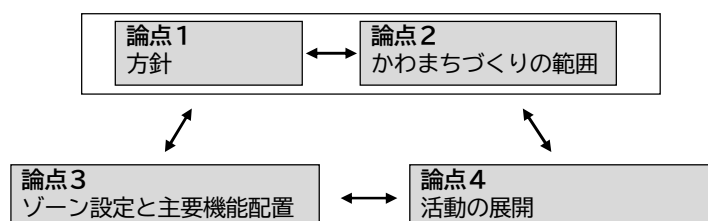
- ・ 計画地周辺の「かわ」のもつポテンシャル、「まち」のポテンシャルを保全し、活用するために望ましいかわまちづくりの範囲をどのように設定するか。
- ・ 論点2は、論点1と相互に影響する。論点2は、論点3、論点4に影響する。

○論点3：ゾーン設定と主要機能配置

- ・ 論点1、論点2からどのようなエリアのゾーン設定を行い、主要機能を配置するか。

○論点4：活動の展開

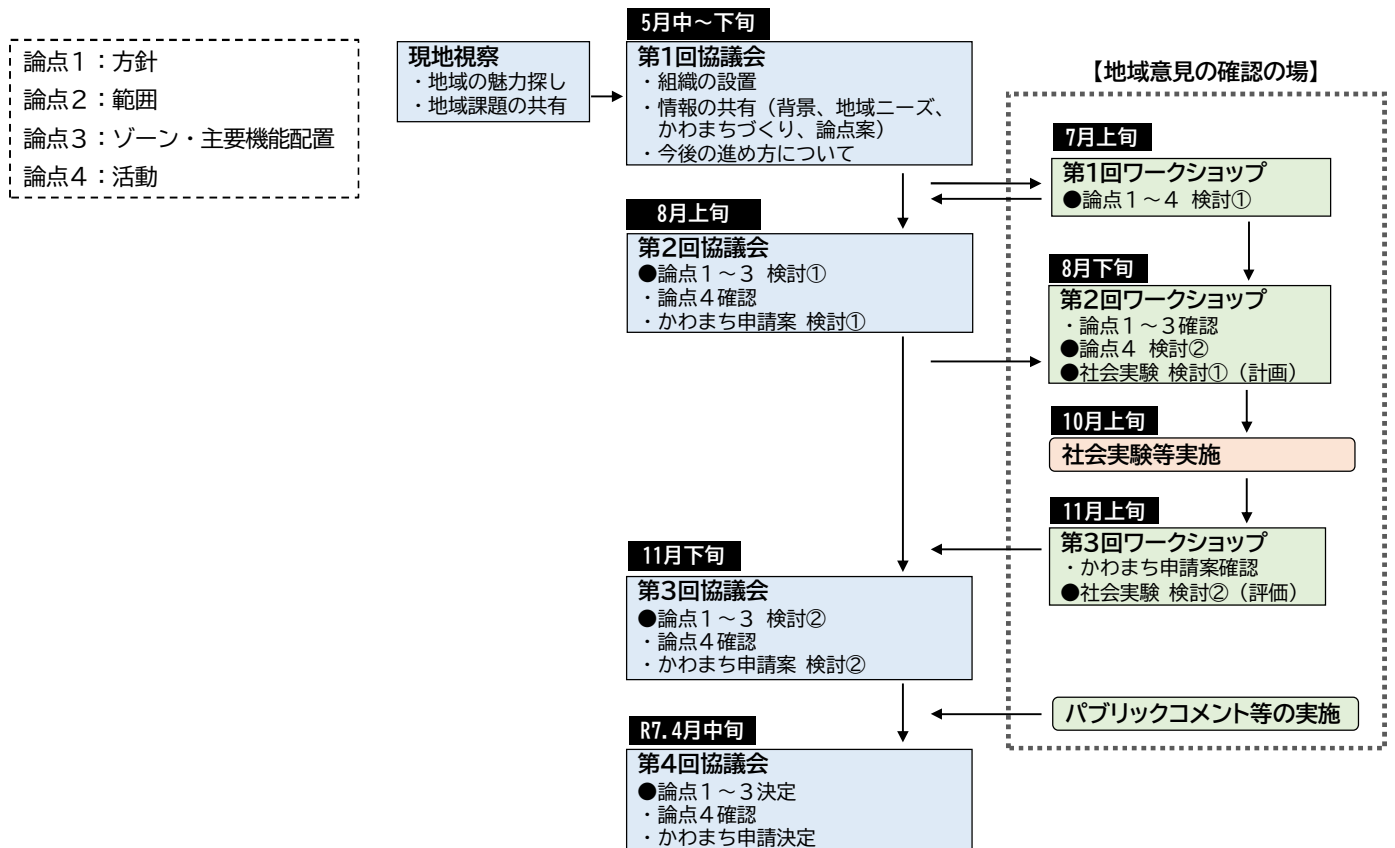
- ・ 論点2の範囲で、どのようなかわまちづくりの活動を展開するか。



21

4) 検討プロセス

協議会とワークショップの検討プロセス



22

かわまちづくり支援制度

参考資料

かわまちづくり支援制度

ソフト施策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定等によるオープンカフェなど河川空間の多様な利活用の促進
- ・優良事例に関する情報提供や必要な調査等により、計画の実現を支援

都市・地域再生等利用区域の指定の適用事例



水面上遊歩道のイベントや舟運等での活用
(道頓堀川/大阪市)



河岸緑地へのオープンカフェの設置
(京橋川/広島市)

先進的な取組の情報提供



民間事業者のエリアマネジメントによる
管理・運営(信濃川/新潟市)



河川敷広場への新たな賑わい拠点の整備
(木曽川/美濃加茂市)

ハード施策による支援

- ・治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。
(市町村、民間事業者が河川空間の利用施設を整備)



河川管理用通路の利用
(最上川/長井市)



親水護岸の利用
(新町川/徳島市)

出典：かわまちづくりウェブサイト
<https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyou/machizukuri/index.html>

23

➤ かわまちづくり 参考事例（広島県福山市 千代田地区かわまちづくり計画）

- ・平成30年3月26日に「千代田地区かわまちづくり」計画が登録された。
- ・熊谷市荒川かわまちづくり計画同様、体育館と隣接している場所であり、花火大会の会場にもなっている。



【階段護岸】



【連絡歩道橋】



【自転車歩行者用道路】



【ステップ護岸】

出典：国交省ウェブサイト <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyoku/tashizen/pdf/r02/1-12siryo.pdf> 24

現状の利用状況

現状の利用状況



熊谷大橋から下流を望む

熊谷花火大会（荒川緑地）

荒川大橋から下流を望む

ラグビー場、荒川緑地

荒川大橋より上流側の高水敷

熊谷市かわまちづくりワークショップ要領(案)

(目的)

ワークショップは、熊谷市かわまちづくりに対する要望・意見の収集や、当事業に対する地域の主体的な参加意欲の向上を図るための社会実験の準備及びふりかえり（評価、課題抽出）のために行政関係者の他、広く市民の意見を反映させるためにワークショップを組織し、社会実験の実施案を決定することを目的としたものである。

(対象者／組織体制)

ワークショップは、公募制にて招集した参加希望者（行政、市民、関係団体他）をもって組織する。かわまちづくりの方針や計画を決定する協議会との関係は、下図の通りであり、ワークショップでは協議会に対し意見・要望、具体のアイデア出しを行うものである。

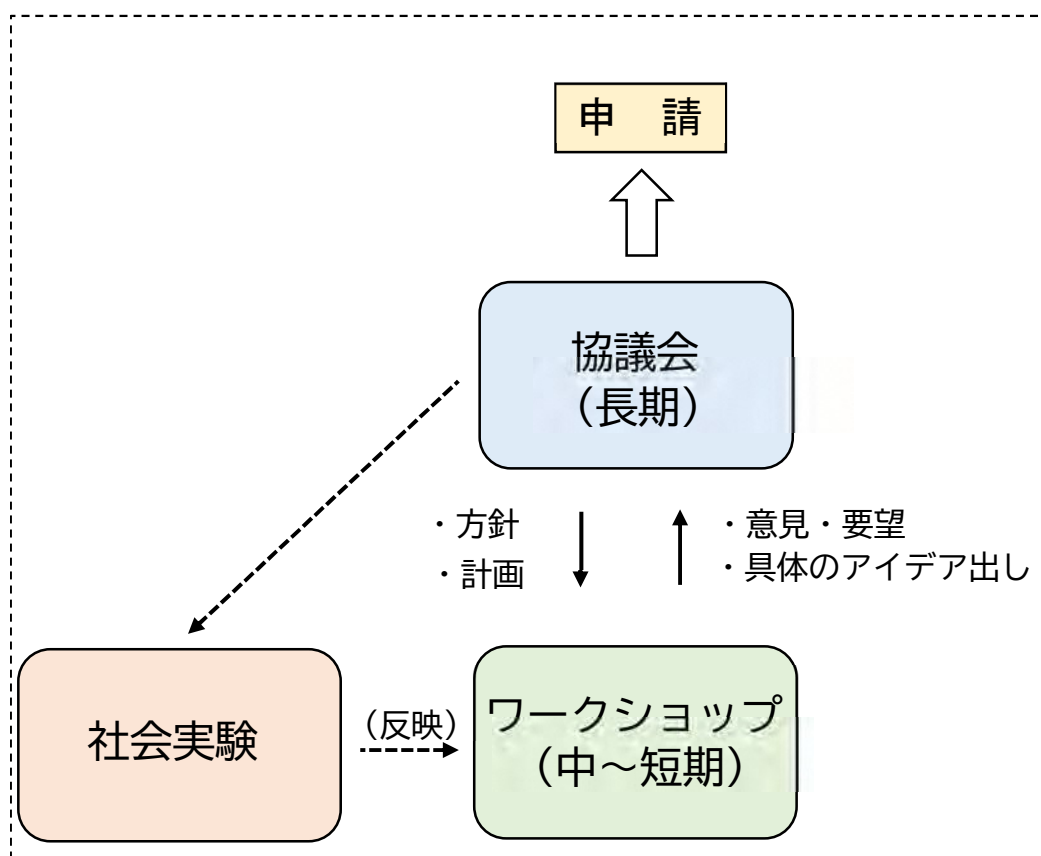


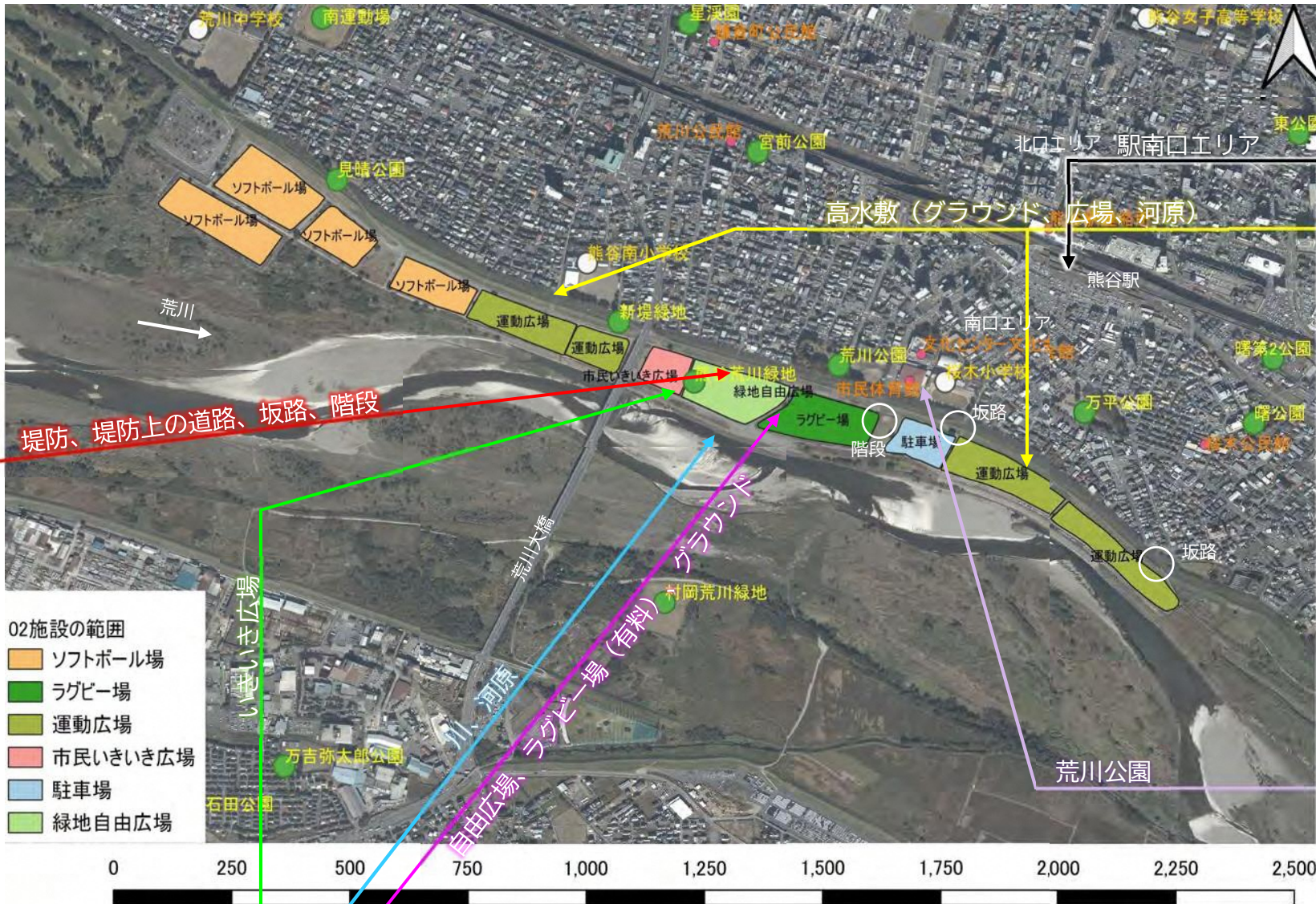
図1 WS位置づけのイメージ

(ルール)

ワークショップはファシリテータと公募した行政、市民、関係団体他により実施する。原則、他人の意見を否定することは禁止し、幅広い意見を求めるものとする。

熊谷市の河川空間・南口エリアの利用状況

意見区分（中）	計画地全般	意見概要
「新川菜園村&子ども遊びの森」の事例	・ヒースふあいるクラブの「新川菜園村&子ども遊びの森」は、様々なイベント（キャンプ、ツリハウス、BBQ等）が可能であり、子供はヒースファイアの人の横を歩ける安全な環境で遊ぶことができ、子供は遊ぶことができる。	
地域特性（市民活動が活発）	・市民活動が活発な地域であり、子供イベント広場があれば、プログラムの検討が可能であり、市民団体の利用価値も高まる。	
現在公園で開催されているイベント	・公園の紹介や行き方、公園の魅力、公園での親子などを知ってもらうことで、家族や友達との利用や外出につながることを目的とし、イベントを実施している。かわまちづくりでできた空間を活用して利用できることはとても良いこと。	
市内の自転車利用	・平地が多い土地柄、子供の移動に自転車利用をしている人も多い。	
江南総合公園の事例	・江南総合公園は指定管理者のグリーンアップ熊谷が全面的に協力して行っている。	
学校の自然学習・社会学習	・小学1年生の生活の授業で1年に2回季節の自然、生き物探しを行っている。 ・小学3年生の社会の授業で町の変化について学ぶ。授業の内容は荒川大橋についての内容が主である。 ・小学5年生の社会の授業でハザードマップには少し触れている。 ・アクセスは電車やバスの公共交通機関がほとんどである。	
市内の移動・アクセス	・荒川大橋は環境への関心が深く、荒川南口エリアの注目度は高い。	
荒川熊谷エリアの注目度	・国土交通省との活動で、熊谷大橋から下流側の荒川敷のゴミ拾いを定期的に開催している。今年で26年目となる。現在は5月と10月に参加している（多い時は1500人程が参加し、子供も多く参加している）。	
ゴミ拾い	・スポーツ団体のコーチが発案となってゴミ拾いを行っているため、荒川敷はきれいに保たれている。野鳥の森付近でサッカーをしている団体もゴミ拾いをしており、村岡広場で野球をやっているリトルシニアはグラウンド周辺もゴミ拾いを行っている。	
里川で実施されているイベント	・熊谷駅北側の里川の親水性を高める社会実験的な取組として、イベント（夕涼み熊谷チャレンジ）を実施している。	
及下の新川村跡	・及下の新川村跡で、イベントをやっていたかもしれない。	
市の包括連携協定	・包括連携協定を結んでいる企業に、ボランティア清掃を協力している。清掃活動の仕切りを東京電力が実施しており、JRF、秩父鉄道、市の関係者が参加している。 ・産業振興局に関する包括連携協定は、株式会社八木橋、株式会社ハナズオと協定を締結している。 ・企業からかわまちづくりへの参加のニーズは今のところ聞いているがテーマによっては参加する可能性はある。	
散歩の状況・魅力	・散歩している人は多く、犬が多い。 ・散歩の目的は散歩や河川敷利用がほとんどない。 ・散歩する人の多くは散歩の道と河川敷を併走する一帯に散歩する。 ・方角から及下流の方に歩くと、荒川大橋の散歩に利用している。散歩のうつろいを感じ、ストレス解消の場になっている。 ・及下流の方に歩くと富士山が見える。荒川大橋の方に歩くと流石山が見え、散歩の魅力となっている。 ・夏場でも夕方6時頃になると土手の上に良い風が吹き、近くの人が夕涼みに利用している。 ・土手の上は芝生が良く気持ちが良い。 ・秋の夕涼みや春の散歩に出る自然は良いが、暑さと自然のバランスが良い。暑さの中の自然のイメージが荒川大橋の魅力。 ・空が広いこと、富士山や初日の出、群馬県側の山並み等、景観性に優れているロケーションが存在している。	
花火大会時の観客席	・熊谷花火大会は、他地域の花火大会に比べて花火に近い距離で観覧できることが魅力となっている。	
花火大会の運営	・花火大会は市と観光協会、熊谷市商工会、商工会議所、熊谷市商店街連合会の5社共催で運営している。花火大会のメイン会場に、熊谷市商工会の無料観覧席が設けられている。熊谷市の上流から下流側の運動広場に無料観覧席を設けている。	
花火大会の片づけ	・花火大会後に残された法面の石（シーツの裏面）の片づけは観光協会が主に行っている。	
桜堤の植え替え	・桜は年ごとに植え替えを行っており、植え替えに関して環境保全団体と関わっていることではない。 ・熊谷市民は桜を大切にしており、堤防から見ると一列に並んだ桜は景観である。	
桜堤の魅力	・桜の資源の桜堤（日本の桜百選に選ばれた）の魅力の発達の拠点がある。 ・桜祭りは桜の花を売りとしており、外国人観光客にも人気がある。	
堤防の整備状況・スケジュール	・堤防の完成度整備は、下流側から順次実施しているが、当該地区では当面実施する計画はない。 ・当面予定地の堤防は計画書を不足しているため将来的に整備予定である。なお、緊急河川敷道路の位置付けはない。	
保育園児の遊び場	・近くの保育園児が遊びの場所として河川敷の広場を使用している。	
親水施設の整備	・親水施設は現状では、荒川上流側川内側の本川で川遊びが楽しめる施設は設けられている。 ・川の良さを活用して川を親しんでもらおうとする取組として、SAITAMAリバーサポーターズプロジェクトがある。	
SAITAMAリバーサポーターズプロジェクトの取組み	・SAITAMAリバーサポーターズの取組として、熊谷市の上流からSUP（サップ）による川下りが開催されており、その際の休憩ポイントとして荒川大橋の下が一度利用されたことがある。 ・カヌーやサップによる川下りが実施されている。 ・荒川大橋の上流側では子供を見かける。 ・現在つり人はいるが昔と比べて少なくなった。 ・小学生の永切イベント（運動広場3付近の公園）を行っている。	
水辺のアクティビティ	・夏休み前等は子供たちだけで水辺に近づかないように注意喚起の呼びかけをしている。 ・河川敷を歩くサークル	
遊び場として子供への注意喚起	・いそいそ広場	
サークル活動	・いそいそ広場	
スポーツ利用	・近隣住民よりも、ラグビーやサッカー等のスポーツ利用の頻度が高い。 ・自由広場を小学生サッカークラブが利用している。 ・2019年以降トイレが水洗式になり、子供達がとても利用しやすいとなった。 ・次の散歩に利用する方がとても多く、放し飼いの犬もいる。	
広場のトイレ状況	・荒川河川敷は、ペットの散歩に訪れる人が多い。 ・朝は犬の散歩が多く見られる。 ・6・30歳以上のラジオリモーターを所有している。アクセス方法はほとんどが徒歩で、多少車の方がいる。	
ペットの利用	・防犯訓練に自由広場を、消防団の演習に荒川大橋の上流側の運動広場を利用している。	
ラグビー場（有料）の利用状況	・荒川河川敷には有料のラグビー場と無料の自由広場があり、ラグビー利用が多い状況である。 ・有料ラグビー場は、年間を通して多くまで予約が埋まっている状況で、学校の対抗試合の日は平日の利用もみられる。 ・有料ラグビー場より自由広場の方が多く利用されており、利用用途もラグビー利用のほか、少年団のサッカーや一般のイベント利用等がある。	
学校の利用状況（持久走）	・全学年参加の持久走大会で多目的広場の外周を使用している。	
ゴルフ利用	・駐車場の下流側の運動広場でグラウンドゴルフ愛好会が活動している。 ・熊谷リゾーツで荒川緑地内で花壇整備を行っている。 ・熊谷リゾーツの保護者が自分達でグラウンドゴルフを始めるスペースを確保するため努力をしている。 ・駐車場の広さは狭く、トイレもあり、設備は十分である。	
広場の駐車場利用	・現在はあまり利用されていない状況である。 ・過去には川を渡り上げたイベントや小学生対象の自然学習イベント（自由広場をゴールとして利用）、チャレンジ（ラグビー場の木道）等のイベントを行っていた。	
イベント利用	・荒川緑地の自由広場を防災訓練として利用している。	
防災訓練利用		



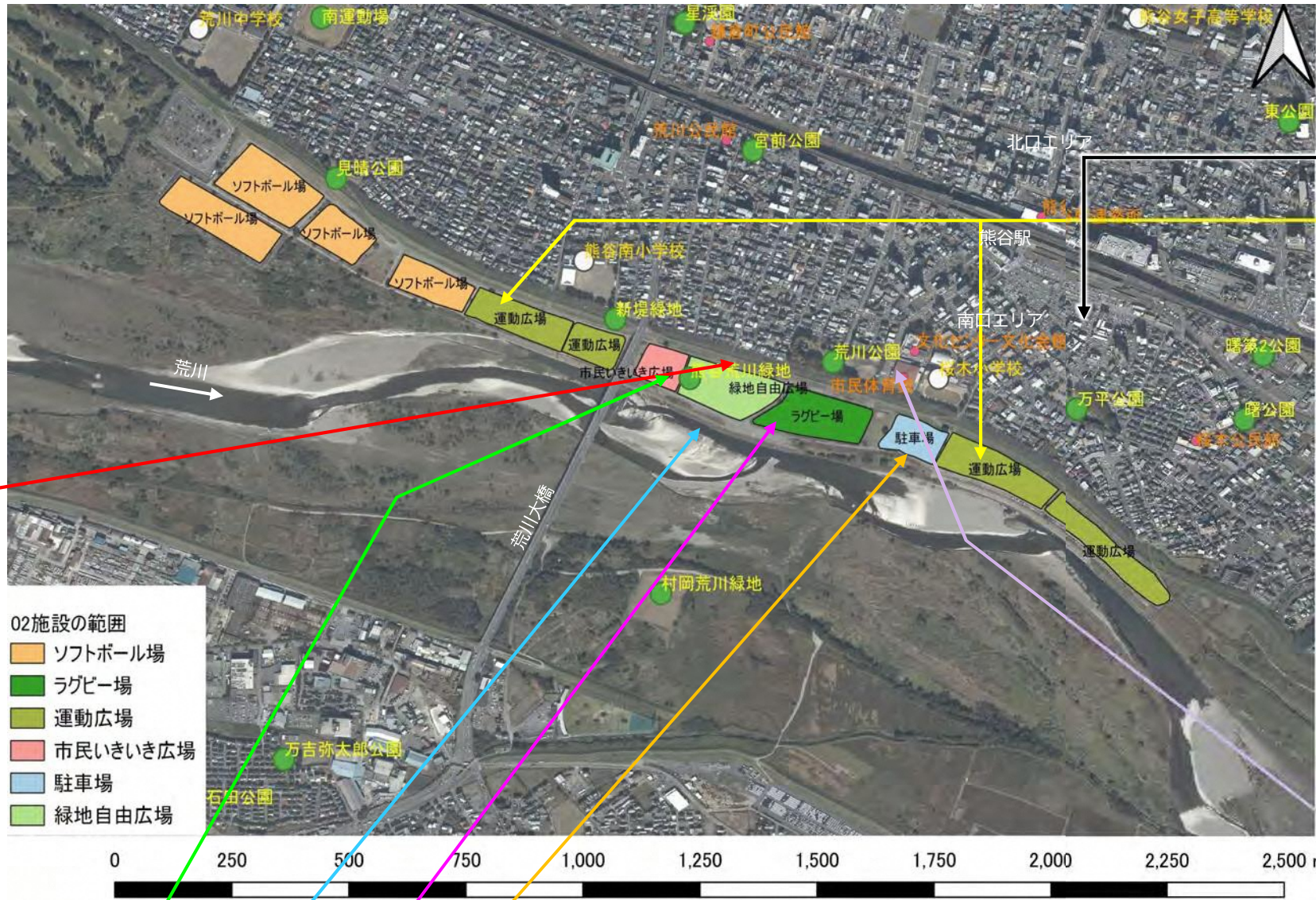
計画地周辺の主な利用状況



実施内容（グラウンド、広場、河原）	実施内容
ラグビースタジアムの利用	・熊谷市役所のラグビースタジアムは熊谷女子高校のラグビースタジアムに使用されている。ラグビースタジアムは熊谷市役所のラグビースタジアムに使用されている。熊谷市役所のラグビースタジアムは熊谷市役所のラグビースタジアムに使用されている。
ソフトボールの利用	・熊谷市役所のソフトボール場は熊谷市役所のソフトボール場に使用されている。熊谷市役所のソフトボール場は熊谷市役所のソフトボール場に使用されている。熊谷市役所のソフトボール場は熊谷市役所のソフトボール場に使用されている。
サイクリング・ラグビー利用	・熊谷市役所のサイクリング・ラグビー利用は熊谷市役所のサイクリング・ラグビー利用に使用されている。熊谷市役所のサイクリング・ラグビー利用は熊谷市役所のサイクリング・ラグビー利用に使用されている。熊谷市役所のサイクリング・ラグビー利用は熊谷市役所のサイクリング・ラグビー利用に使用されている。
ノルディック・ゴルフの講座・同好会	・熊谷市役所のノルディック・ゴルフの講座・同好会は熊谷市役所のノルディック・ゴルフの講座・同好会に使用されている。熊谷市役所のノルディック・ゴルフの講座・同好会は熊谷市役所のノルディック・ゴルフの講座・同好会に使用されている。熊谷市役所のノルディック・ゴルフの講座・同好会は熊谷市役所のノルディック・ゴルフの講座・同好会に使用されている。
障がい者の方のイベント	・熊谷市役所の障がい者の方のイベントは熊谷市役所の障がい者の方のイベントに使用されている。熊谷市役所の障がい者の方のイベントは熊谷市役所の障がい者の方のイベントに使用されている。熊谷市役所の障がい者の方のイベントは熊谷市役所の障がい者の方のイベントに使用されている。
店・キッチンカーの出店（現状ではなし）	・熊谷市役所の店・キッチンカーの出店（現状ではなし）は熊谷市役所の店・キッチンカーの出店（現状ではなし）に使用されている。熊谷市役所の店・キッチンカーの出店（現状ではなし）は熊谷市役所の店・キッチンカーの出店（現状ではなし）に使用されている。熊谷市役所の店・キッチンカーの出店（現状ではなし）は熊谷市役所の店・キッチンカーの出店（現状ではなし）に使用されている。
観光協会のイベント	・熊谷市役所の観光協会のイベントは熊谷市役所の観光協会のイベントに使用されている。熊谷市役所の観光協会のイベントは熊谷市役所の観光協会のイベントに使用されている。熊谷市役所の観光協会のイベントは熊谷市役所の観光協会のイベントに使用されている。
高水敷の子供のイベント利用	・熊谷市役所の高水敷の子供のイベント利用は熊谷市役所の高水敷の子供のイベント利用に使用されている。熊谷市役所の高水敷の子供のイベント利用は熊谷市役所の高水敷の子供のイベント利用に使用されている。熊谷市役所の高水敷の子供のイベント利用は熊谷市役所の高水敷の子供のイベント利用に使用されている。
花火大会の観客席	・熊谷市役所の花火大会の観客席は熊谷市役所の花火大会の観客席に使用されている。熊谷市役所の花火大会の観客席は熊谷市役所の花火大会の観客席に使用されている。熊谷市役所の花火大会の観客席は熊谷市役所の花火大会の観客席に使用されている。
ノルディックの利用	・熊谷市役所のノルディックの利用は熊谷市役所のノルディックの利用に使用されている。熊谷市役所のノルディックの利用は熊谷市役所のノルディックの利用に使用されている。熊谷市役所のノルディックの利用は熊谷市役所のノルディックの利用に使用されている。
高水敷の流注（急流区間等）	・熊谷市役所の高水敷の流注（急流区間等）は熊谷市役所の高水敷の流注（急流区間等）に使用されている。熊谷市役所の高水敷の流注（急流区間等）は熊谷市役所の高水敷の流注（急流区間等）に使用されている。熊谷市役所の高水敷の流注（急流区間等）は熊谷市役所の高水敷の流注（急流区間等）に使用されている。
高水敷のヘリポート利用	・熊谷市役所の高水敷のヘリポート利用は熊谷市役所の高水敷のヘリポート利用に使用されている。熊谷市役所の高水敷のヘリポート利用は熊谷市役所の高水敷のヘリポート利用に使用されている。熊谷市役所の高水敷のヘリポート利用は熊谷市役所の高水敷のヘリポート利用に使用されている。
過去、白鳥の飛来	・熊谷市役所の過去、白鳥の飛来は熊谷市役所の過去、白鳥の飛来に使用されている。熊谷市役所の過去、白鳥の飛来は熊谷市役所の過去、白鳥の飛来に使用されている。熊谷市役所の過去、白鳥の飛来は熊谷市役所の過去、白鳥の飛来に使用されている。
大森公園の管理事例	・熊谷市役所の大森公園の管理事例は熊谷市役所の大森公園の管理事例に使用されている。熊谷市役所の大森公園の管理事例は熊谷市役所の大森公園の管理事例に使用されている。熊谷市役所の大森公園の管理事例は熊谷市役所の大森公園の管理事例に使用されている。
市民の防災意識	・熊谷市役所の市民の防災意識は熊谷市役所の市民の防災意識に使用されている。熊谷市役所の市民の防災意識は熊谷市役所の市民の防災意識に使用されている。熊谷市役所の市民の防災意識は熊谷市役所の市民の防災意識に使用されている。
消防の特別点検	・熊谷市役所の消防の特別点検は熊谷市役所の消防の特別点検に使用されている。熊谷市役所の消防の特別点検は熊谷市役所の消防の特別点検に使用されている。熊谷市役所の消防の特別点検は熊谷市役所の消防の特別点検に使用されている。
日差しを遮る広場の樹木	・熊谷市役所の日差しを遮る広場の樹木は熊谷市役所の日差しを遮る広場の樹木に使用されている。熊谷市役所の日差しを遮る広場の樹木は熊谷市役所の日差しを遮る広場の樹木に使用されている。熊谷市役所の日差しを遮る広場の樹木は熊谷市役所の日差しを遮る広場の樹木に使用されている。
花火大会時の状況	・熊谷市役所の花火大会時の状況は熊谷市役所の花火大会時の状況に使用されている。熊谷市役所の花火大会時の状況は熊谷市役所の花火大会時の状況に使用されている。熊谷市役所の花火大会時の状況は熊谷市役所の花火大会時の状況に使用されている。
障がい者の方の運動場としての利用	・熊谷市役所の障がい者の方の運動場としての利用は熊谷市役所の障がい者の方の運動場としての利用に使用されている。熊谷市役所の障がい者の方の運動場としての利用は熊谷市役所の障がい者の方の運動場としての利用に使用されている。熊谷市役所の障がい者の方の運動場としての利用は熊谷市役所の障がい者の方の運動場としての利用に使用されている。
新体育館整備の代替施設の懸念	・熊谷市役所の新体育館整備の代替施設の懸念は熊谷市役所の新体育館整備の代替施設の懸念に使用されている。熊谷市役所の新体育館整備の代替施設の懸念は熊谷市役所の新体育館整備の代替施設の懸念に使用されている。熊谷市役所の新体育館整備の代替施設の懸念は熊谷市役所の新体育館整備の代替施設の懸念に使用されている。
小学生のお昼ご飯利用	・熊谷市役所の小学生のお昼ご飯利用は熊谷市役所の小学生のお昼ご飯利用に使用されている。熊谷市役所の小学生のお昼ご飯利用は熊谷市役所の小学生のお昼ご飯利用に使用されている。熊谷市役所の小学生のお昼ご飯利用は熊谷市役所の小学生のお昼ご飯利用に使用されている。
子供の自然学習利用（現時点ではなし）	・熊谷市役所の子供の自然学習利用（現時点ではなし）は熊谷市役所の子供の自然学習利用（現時点ではなし）に使用されている。熊谷市役所の子供の自然学習利用（現時点ではなし）は熊谷市役所の子供の自然学習利用（現時点ではなし）に使用されている。熊谷市役所の子供の自然学習利用（現時点ではなし）は熊谷市役所の子供の自然学習利用（現時点ではなし）に使用されている。
荒川公園へのアクセス	・熊谷市役所の荒川公園へのアクセスは熊谷市役所の荒川公園へのアクセスに使用されている。熊谷市役所の荒川公園へのアクセスは熊谷市役所の荒川公園へのアクセスに使用されている。熊谷市役所の荒川公園へのアクセスは熊谷市役所の荒川公園へのアクセスに使用されている。
近隣住民の荒川公園の重要性	・熊谷市役所の近隣住民の荒川公園の重要性は熊谷市役所の近隣住民の荒川公園の重要性に使用されている。熊谷市役所の近隣住民の荒川公園の重要性は熊谷市役所の近隣住民の荒川公園の重要性に使用されている。熊谷市役所の近隣住民の荒川公園の重要性は熊谷市役所の近隣住民の荒川公園の重要性に使用されている。
アンダーパスの状況と市民の印象	・熊谷市役所のアンダーパスの状況と市民の印象は熊谷市役所のアンダーパスの状況と市民の印象に使用されている。熊谷市役所のアンダーパスの状況と市民の印象は熊谷市役所のアンダーパスの状況と市民の印象に使用されている。熊谷市役所のアンダーパスの状況と市民の印象は熊谷市役所のアンダーパスの状況と市民の印象に使用されている。
南口エリアの整備状況	・熊谷市役所の南口エリアの整備状況は熊谷市役所の南口エリアの整備状況に使用されている。熊谷市役所の南口エリアの整備状況は熊谷市役所の南口エリアの整備状況に使用されている。熊谷市役所の南口エリアの整備状況は熊谷市役所の南口エリアの整備状況に使用されている。
かわまち計画箇所の強み	・熊谷市役所のかわまち計画箇所の強みは熊谷市役所のかわまち計画箇所の強みに使用されている。熊谷市役所のかわまち計画箇所の強みは熊谷市役所のかわまち計画箇所の強みに使用されている。熊谷市役所のかわまち計画箇所の強みは熊谷市役所のかわまち計画箇所の強みに使用されている。
民間のまちづくり活動	・熊谷市役所の民間のまちづくり活動は熊谷市役所の民間のまちづくり活動に使用されている。熊谷市役所の民間のまちづくり活動は熊谷市役所の民間のまちづくり活動に使用されている。熊谷市役所の民間のまちづくり活動は熊谷市役所の民間のまちづくり活動に使用されている。
そのほか	・熊谷市役所のそのほかは熊谷市役所のそのほかに使用されている。熊谷市役所のそのほかは熊谷市役所のそのほかに使用されている。熊谷市役所のそのほかは熊谷市役所のそのほかに使用されている。
小中学校の選択要素	・熊谷市役所の小中学校の選択要素は熊谷市役所の小中学校の選択要素に使用されている。熊谷市役所の小中学校の選択要素は熊谷市役所の小中学校の選択要素に使用されている。熊谷市役所の小中学校の選択要素は熊谷市役所の小中学校の選択要素に使用されている。
スマートシティ宣言	・熊谷市役所のスマートシティ宣言は熊谷市役所のスマートシティ宣言に使用されている。熊谷市役所のスマートシティ宣言は熊谷市役所のスマートシティ宣言に使用されている。熊谷市役所のスマートシティ宣言は熊谷市役所のスマートシティ宣言に使用されている。
市民参画の取組	・熊谷市役所の市民参画の取組は熊谷市役所の市民参画の取組に使用されている。熊谷市役所の市民参画の取組は熊谷市役所の市民参画の取組に使用されている。熊谷市役所の市民参画の取組は熊谷市役所の市民参画の取組に使用されている。
くまSUNフェスタ	・熊谷市役所のくまSUNフェスタは熊谷市役所のくまSUNフェスタに使用されている。熊谷市役所のくまSUNフェスタは熊谷市役所のくまSUNフェスタに使用されている。熊谷市役所のくまSUNフェスタは熊谷市役所のくまSUNフェスタに使用されている。
江南総合公園のイベント	・熊谷市役所の江南総合公園のイベントは熊谷市役所の江南総合公園のイベントに使用されている。熊谷市役所の江南総合公園のイベントは熊谷市役所の江南総合公園のイベントに使用されている。熊谷市役所の江南総合公園のイベントは熊谷市役所の江南総合公園のイベントに使用されている。
シェアサイクルの状況	・熊谷市役所のシェアサイクルの状況は熊谷市役所のシェアサイクルの状況に使用されている。熊谷市役所のシェアサイクルの状況は熊谷市役所のシェアサイクルの状況に使用されている。熊谷市役所のシェアサイクルの状況は熊谷市役所のシェアサイクルの状況に使用されている。
広告効果についてのバスター事例	・熊谷市役所の広告効果についてのバスター事例は熊谷市役所の広告効果についてのバスター事例に使用されている。熊谷市役所の広告効果についてのバスター事例は熊谷市役所の広告効果についてのバスター事例に使用されている。熊谷市役所の広告効果についてのバスター事例は熊谷市役所の広告効果についてのバスター事例に使用されている。
荒川大橋からの眺め	・熊谷市役所の荒川大橋からの眺めは熊谷市役所の荒川大橋からの眺めに使用されている。熊谷市役所の荒川大橋からの眺めは熊谷市役所の荒川大橋からの眺めに使用されている。熊谷市役所の荒川大橋からの眺めは熊谷市役所の荒川大橋からの眺めに使用されている。

計画地全般		
意見区分		意見概要
大	中	
E-1	イベントの備品	- 音は駅伝大会等のイベントが行われていたが、現在はイベントをやる備品が高水敷になく、運び入れる必要がある。 - 荒川を活かして、子供が水辺で遊べる場所や遊める場所があること。
T-1	子育て世代が滞在しやすい空間（公園や水辺）の充実	- 自転車の利用環境の充実や遊具等のレンタルサービス等、親子が手ぶらで遊びに行けるような工夫をするなど。 - 遊具やバーベキュー等が備わって、車で来なくても手ぶらで自然にきて遊べるような空間、サービスがあると、子育て世代にとって良い。
堤防、堤防上の道路、坂路、階段		
F-1	河川空間へのバリアフリーなアクセス	- 河川敷地内には砂利道や段差などもあるが、現状は車いす利用者等に対応したバリアフリーな観覧席や優先席、トイレ、駐車場等を用意できていない。 - 堤防が河川敷へ行く障害になっている。特に高齢者は自転車での堤防の乗り降りが障害になる。 - 自転車で簡単に河川敷に降りられる坂路が少なく、階段横のスロープで降りる等、安全な自転車利用（子供や高齢者など）ができない状況にある。 - 桜木小学校のところに坂路は車で出入りが少し怖い。 - 川東側から高水敷にアクセスする際、桜木町にある川東坂と川東坂路を結ぶ道が急カーブになっており、アクセスが大変である。 - 坂路が少なく堤防上や河川敷のアクセスが悪い。アスファルトなどで整備されておらず上がりにくい。 - 現状の河川敷内へのアクセスは遠くて不便（桜木小学校前の坂路）。また坂路の勾配が急で車椅子では移動が困難。 - 荒川大橋付近の土手が立体交差になり横断が容易にできないため、計画エリアはあまり利用しなくなった。 - 駐車場利用の車両と同様の坂路を通らなければならぬので危険である。
H-1	イベント時の坂路の通行	荒川大橋より西側にはソフトボール場などたくさんのグラウンドがあり、毎週末大会が行われている。大会がある際には100台近くの駐車場利用があり、坂路が狭く、車相互の縦列が困難な状況にある。入口と出口を分けた坂路があると良い。車や大型バスの利用が多い。
J-1	イベント後の堤防・坂路状況	- 祭り後の堤防法面には、観光客がシートで座り使用した石が残されており、除草作業の際に邪魔になる。 - 祭り後の堤防坂路は、祭りの際の車両の走行により、路面がボロボロになっている。
J-2	堤防整備（高上げ・拡幅）の支障物	- 堤防裏の道路に帝石パイプライン（新潟～東京）があり、パイプライン上土盛土ができない。 - 洪水時には、堤防・50cm程度まで水位が上昇（令和元年台風）していたことがあり危険である。
J-3	桜の枝の管理	- 堤防天端には桜の枝が落ちており、落ちてきた枝による歩行者の怪我が懸念される。 - 近年は桜と草の花を一緒に見ることができ、桜の花は堤防管理上は除去すべきであるため注意が必要である。 - カミキリムシにより桜の維持が大変である。
川、河原		
F-2	安全に利用できる親水空間・施設の不足・喪失	- 昔に比べ高水敷と河床の高低差が大きく水辺に近づきにくくなっている。また、石も少なくなっており水切り等の遊びも難しい。 - 川はあるが、市民はあまり川に行かず、約人が数名大橋の下に行っているくらいである。 - 浅瀬など、体の不自由な人や子供連等が安全に水辺に親しめる場所になっていない。釣りも安全にできない。 - 水量が多くなると、護岸も水に近寄れるような状況でないで安全性の観点から水辺のアクティビティのイベント利用は難しい。
駐車場		
C-1	河川空間に近い駐車場の不足	- 市民や近隣向けイベント時の駐車場確保が重要であり、計画地は駐車場が少ない。 - 開花期間内で来場者が分散するが、満開時期と土日が重なると、混雑が発生している。車で来られる方用に多目的広場（砂利）を臨時駐車場として使用しており、土日はほぼ満車となる。 - 高水敷河原には、一般車両が駐車されていることがある。
いきいき広場		
G-1	いきいき広場のアクセス	いきいき広場は木陰はあるが、アクセスが不便で利用しづらい。
自由広場、ラグビー場（有料）、グラウンド		
G-2	ペット利用とスポーツ利用の共存	自由広場を利用する方には、犬の放し飼いや危険な犬種、犬の利用に嫌悪感を抱いている方もいる（地域利用とスポーツ利用の共存が課題）。
H-2	グラウンドへのペットの進入	スポーツグラウンドのその他の活用との両立は難しい。現在も勝手に入り込んだ方のペットのふんなどがグラウンド内に、スポーツ利用ができなくなる。
H-3	グラウンドの利用団体の集中	スポーツグラウンドは、実質、1団体で1グラウンドを占有している状態になっている。その分、既得権を持っている団体のスペースをなくすのは難しい。

熊谷市の地域課題



凡例 意見区分	
A: かわまちづくり計画の考え方等	意見数2 団体数2
B: 安全、安心に暮らせるまちづくり	意見数0 団体数0
C: 快適で暮らしやすいまち（暑さ対策、住環境保全）	意見数9 団体数6
D: 環境に優しく自然に優しいまち	意見数3 団体数3
E: 活気と賑わいのある魅力的なまち	意見数14 団体数7
F: 子供、高齢者、障がい者の誰もが暮らしやすいまち	意見数20 団体数8
G: 市民の健康づくり推進	意見数3 団体数3
H: スポーツの魅力や文化の発信	意見数3 団体数2
I: 子育て支援の環境づくり	意見数3 団体数2
J: 維持管理、運営、官民連携による管理	意見数5 団体数3
K: 地域の文化、歴史の継承	意見数0 団体数0
L: その他	意見数1 団体数1

高水敷全線（グラウンド、広場、河原）		
意見区分	中	意見概要
A-1	高水敷に設ける親水空間（小水路、池）	親水空間の整備は、高水敷がグラウンド利用されておらず、水辺に近づくことが難しいことから積極的に進めたいという意見がある。
A-2	かわまち利用と高水敷のグラウンド利用者との共存	このエリアの利用特性として、場所確保で利用団体が限定されており、駐車場の利用などによって、高水敷の利用に制約がある場合はその団体の他から意見を聞く。一方で現状の利用者だけの意見を聞いていくと新しい利用等が難しい。
C-2	夜間の騒音	騒音は毎日花火で夜中まで聞こえている人がいると聞いている。
C-3	高水敷の日除け、水堤等の不足（暑さ対策）	- 暑熱などは暑い時期は休憩場所や木陰がないと計画予定地周辺には行かないと思う。 - 河川敷は木陰がなく日影が確保できないことや、電源、水堤や水の活用が容易、近くに駐車場がないことが挙げられるため、子供のイベントの利用対象にしていけない。 - 暑熱の中は外に出ることが出来ない。木陰を設けることが出来れば、水堤が可能な遊具等は子育てをしている人に対して高水敷がある。 - 現在も木陰のある場所には人が集まっている。 - 暑熱などは暑い時期に地盤が乾燥した際の河川敷地を避難空間として利用する際の暑さ対策等が必要。
D-1	河原に捨てられるゴミ	- 河原の樹木が繁茂している範囲は死木とあり、よそ者が捨てられている。 - 釣り利用者は環境に影響となるゴミを置いていくことが多い。
D-2	高水敷の自然環境の不足・減少	- 河川管理（国土交通省）とソーシングを決定しており、当該箇所は「河川敷利用ゾーン」として、自然環境の保全を維持する計画になっていた。 - 但し、現状でいわれているとは異なる。計画はかならずしも実現しない。河川管理者も把握していないかもしれない。 - 暑より自然が壊れており子供に自然環境を学ぶことができない。 - たまに水辺で、禁止されているバーベキューや川に入っている人を見かける。 - 禁止されているが、高水敷の橋の下でBBQを行っている人がいる。 - 川川大橋の下では、禁止されているバーベキューを行っている人が大勢おり、必死の力でゴミが出てくる。 - 公園内は条例で火気厳禁のため、市の公園ではバーベキューは禁止している。ただし、特に市が認めた場所として、障がい者や高齢者の利用が可能な施設が設置されている。地域住民からは騒音やゴミ等の苦情が出ている等、反対意見も存在する。
E-2	禁止されているBBQの実施とゴミのポイ捨て	- バーベキュー利用について、現状ルールが明確でなく、ゴミや灰の処理を聞いていく人がいる。バーベキュー禁止の看板を立てても撤去されている状況。 - BBQは禁止されているはずだが勝手にやっている人がおり、ゴミのポイ捨ても確認されているがBBQが実施されている等と聞かれています。
F-3	障がい者・高齢者の高水敷利用	- 河川敷に車いすトイレがない。 - 足生を歩かずして歩くのは難しい。また芝生のエリアに入ることが可能であるがかわが深い。 - 現状は体の不自由な人はあまり利用していない。 - 体の不自由な方や高齢者は高水敷に行きにくい。利用が難しいため利用しにくいといった課題がある。 - スポーツ利用が少なく、スポーツをする人が優先されるイメージがある。
E-6	キッチンカーの出店	熊谷駅周辺や花火大会は露天売りが出店されるが、キッチンカーの売物を出店する店はない。キッチンカーの店を出せば良い。
J-4	イベント時の緊急車両の走行	イベント時に河川敷内に入ると、人混みで止まったり、水堤の緊急車両のアクセスできない状況がある。
L-1	高水敷の音楽利用	コーラスの練習に利用しようとしたが、市に問い合わせた結果、ダメだと聞いて河川敷を利用できなかった。
河川公園		
F-4	高水敷に代替施設を設けた場合のアクセスの悪化	河川公園は障がい者の方が利用しにくい環境であり、高水敷に代替施設を設けた場合、アクセスが悪化する可能性がある。
G-3	スポーツ（グラウンドゴルフ）利用可能な場所の減少	河川公園の整備で体育館がなくなることで、公園のグラウンドが狭くなり、グラウンドゴルフ等の運動に使用できなくなる。
駅前エリア		
E-3	花火大会時の渋滞	花火大会の際は、熊谷駅から体育館前の道を通り、駅西より、川にアクセスするルートが一帯混雑する状況となっている。
E-4	北口エリアから南口・河川へ繋がるアンダーパスの治安	- アンダーパスは治安の懸念があり、歩行者はどちらかというと駅西にある自由通路を主に利用している。 - かわとまちをつなげる動線の魅力の発露、かわに寄りかかっているような道の整備づくりも重要。アンダーパスは使われていない。
E-6	南口エリアの整備状況	- 昭和50年代の住宅地整備や道路整備により市街地が形成された。その後、駅前駅となったことから、南口エリア（体育館等公施設周辺）の用途地は住宅専用用途のままで土地利用の多様化が進んでいない。また、駅前広場周辺は駐車場利用など低利用地が多い状況となっている。 - 南口エリアの土地利用の目的と現状として、地元（住環境）と市（産業利用）との用途の違いが生じていること。本来の用途は土地利用がなされるべき駅前広場周辺の土地が、現在は駐車場利用など低利用地が多い状況となっていることが挙げられる。 - 現状の土地利用が十分に進んでいない。駅西の駅西側、駅前広場周辺に指定されている。その影響により用途地の多様化が進んでいないことが挙げられる。 - 熊谷駅周辺にコンビニが少ない。 - 熊谷の特産物等に特産品や熊谷市ならではの魅力が足りない。 - キッチンカーや売物を出店できたときは店が右肩上がりでも店に明るい店員を付けてたが、今は人口減少など、市民が熊谷市の未来が明るくないと感じてしまっている。何故かという理由がある。
F-5	車椅子の駅利用	駅ホームへの車椅子のアクセスが悪い（エレベーターの位置がわかりにくい）。
その他		
C-4	河川内の迷惑行為	荒川の河川敷でバーベキュー利用などの禁止行為や迷惑行為等が自主的にしている人、警察や消防署からトイレ等に貼られていることがある。
D-3	情報発信不足	- 野鳥の森など、水辺の魅力を知らない市民が多い（市民への川の意識の醸成の必要性）。 - 若い人はスマホの影響で外出しない傾向にあり、イベントへの参加はあまりない傾向にある。 - イベントを開催する際は新聞や市報に載せているが、若い参加者は集まらない。

計画範囲全般		
意見区分	意見概要	平面上の該当箇所
大 中		
A-1	市全体の一体性を持たせた計画、関連事業との連携が重要	-
	熊谷の荒川ならではの魅力の創出が重要	-
	当事者目線、利用者目線の計画づくりが必要	-
	都市計画上の土地利用制限等に注意が必要	-
	まちへの効果の波及を考えた必要がある	-
A-2	計画の考え方、検討の視点	-
	地域活性化と住環境の保全の両立が必要	-
	観光の視点からは、都市的な空間より自然や風景を活かした空間づくりが重要	-
	荒川緑地はイベント開催時のみならず、日常的に活用し、かわまちづくり計画によって利用制限が厳しくなるのは避ける	-
	提案（荒川大橋〜グランド）がやりやすい範囲と考える	a
	対岸（右岸）エリアを含めて整備する計画としてほしい	b
	熊谷駅南口エリアのまちづくりとの連携が必要（荒川公園、新体育館、図書館、文化会館等）	c
	駅からかわまちまでの歩行者動線が重要	d
A-3	計画範囲	-
	かわまち、南口エリア、北口エリアの一体化（歩行者動線）する視点が重要	-
	富士山の見える久下橋の方面でつながった遊歩道、楽園、トイレ、水道等の休憩施設があると良い	e
	荒川大橋から久下橋までの区間を南下り遊で遊たりすると良い	f
	河川敷内から万平公園まで歩きやすい遊歩道がほしい。歩行者動線が整備されていると利用しやすい	g
	段階的な整備、試行改善の繰り返しにより充実していく進め方が良い	-
	計画づくりへの市民参加促進、市民意見の反映の充実が必要	-
	かわまちの取組の周知・広報の工夫が必要	-
B-1	計画づくりの進め方	-
	デジタル技術を活用して、市民意見分析の客観性向上、前向きなコミュニケーションの進め方とすることが必要	-
	「国土地のいい河川空間」が整備されたとしても、イベント等がなければ人は他の施設に流れてしまう	-
	出店する商業の場所（施設下の遊歩道、新体育館の中、グラウンド等）の検討が必要	-
	雨天時の方として、極に近い場所を希望される	-
B-2	防災教育の充実（水災害の自分事化）	-
	荒川の危険性を理解する場として活用できると良い	-
B-2	防災機能の充実	-
	市民体育館+荒川公園で防災イベントを実施できると良い	-
C-1	防災イベントについて、市民体育館+荒川緑地での開催は可能だが、荒川緑地に行くために手を越える必要があり、ペーパークーの方向の検討が必要	-
C-2	暑さに配慮した計画づくり	-
C-2	暑さに配慮した計画づくり	-
D-1	水辺および高水敷の自然環境の保全、活用	-
D-2	眺望、風景との調和、保全	-
D-3	水辺に親しむ空間づくり	-
E-1	河川敷地内の魅力の充実	-
E-2	休憩拠点の充実	-
F-1	ユニバーサルデザインの空間づくり	-
G-1	ペットとの触れ合いの魅力の充実	-
G-2	新スポーツ・文化・健康拠点機能の充実	-
H-1	ラグビーのスポーツ文化を活かした計画づくり	-
H-2	スポーツ利用施設の充実	-
H-3	ユニバーサルデザインのスポーツ環境づくり	-
I-1	子育て世代が滞在しやすい空間（公園や水辺）の充実	-
J-1	河川空間の管理への官民連携、市民参加の推進の視点	-
J-2	台風襲来時や出水後の対応（方法、体制）	-
J-3	イベント利用時の支援の仕組み	-
L-1	かわまち応援意見	-

- 計画対象エリア（コアエリア）
- 計画対象エリア（将来活用）
- 02施設の範囲
- ソフトボール場
 - ラグビー場
 - 運動広場
 - 市民いきいき広場
 - 駐車場
 - 緑地自由広場



凡例 意見区分

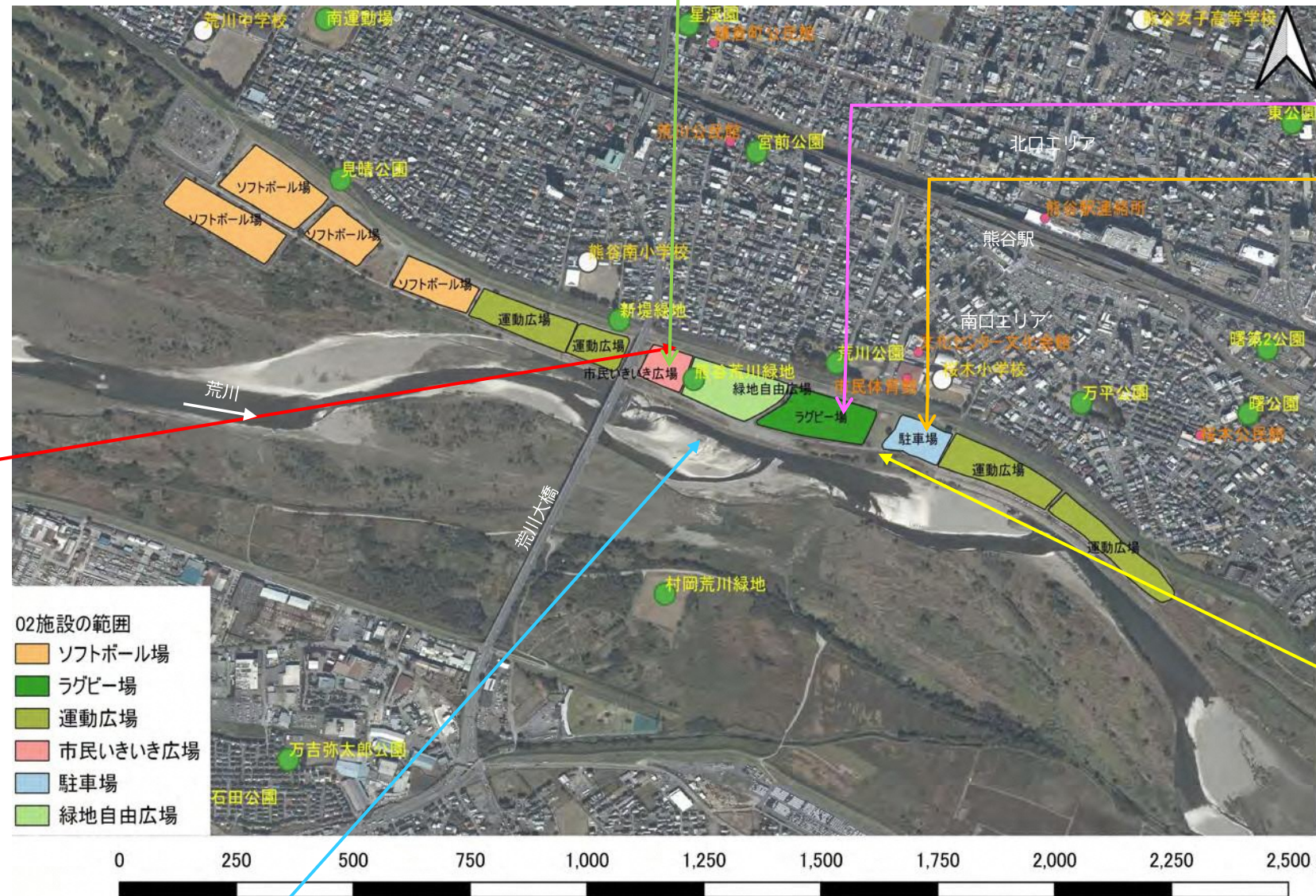
A：かわまちづくり計画の考え方等
 B：安全、安心に暮らせるまちづくり
 C：快適で暮らしやすいまち（暑さ対策、住環境保全）
 D：環境に優しく自然に優しいまち
 E：活気と賑わいのある魅力的なまち
 F：子供、高齢者、障がい者の誰もが暮らしやすいまち

意見数22 団体数11
 意見数3 団体数3
 意見数8 団体数7
 意見数18 団体数8
 意見数29 団体数15
 意見数11 団体数8

G：市民の健康づくり推進
 H：スポーツの魅力や文化の発信
 I：子育て支援の環境づくり
 J：維持管理、運営、官民連携による管理
 K：地域の文化、歴史の継承
 L：その他

意見数6 団体数5
 意見数14 団体数11
 意見数11 団体数7
 意見数9 団体数5
 意見数4 団体数3
 意見数1 団体数1

熊谷市「かわまちづくり」の意見



- 02施設の範囲
- ソフトボール場
 - ラグビー場
 - 運動広場
 - 市民いきいき広場
 - 駐車場
 - 緑地自由広場

凡例 意見区分

- A: かわまちづくり計画の考え方等
B: 安全、安心に暮らせるまちづくり
C: 快適で暮らしやすいまち（暑さ対策、住環境保全）
D: 環境に優しく自然に優しいまち
E: 活気と賑わいのある魅力的なまち
F: 子供、高齢者、障がい者の誰もが暮らしやすいまち
G: 市民の健康づくり推進
H: スポーツの魅力や文化の発信
I: 子育て支援の環境づくり
J: 維持管理、運営、官民連携による管理
K: 地域の文化、歴史の継承
L: その他

- 意見数22 団体数11
意見数3 団体数3
意見数8 団体数7
意見数18 団体数8
意見数29 団体数15
意見数11 団体数8
意見数6 団体数5
意見数14 団体数11
意見数11 団体数7
意見数9 団体数5
意見数4 団体数3
意見数1 団体数1

堤防、堤防上の道路、坂路、階段		
大	中	意見概要
C-3	・高水敷へのアクセスの安全性向上	・高水敷へバスで安全に移動するための道路の改修が必要
C-4	・イベント時のゴミ、騒音、路上駐車の問題	・かわまちづくりにより、イベント時のゴミや騒音、路上駐車の問題が解消できると良い
D-4	・自然学習、体験の場の保全や充実、学校連携の視点	・学園の自然学習利用のため、自然を残してほしい
D-5	・荒川および高水敷の自然環境の保全	・現状の土壁をコンクリート製の階段護岸等の整備を実施する場合は、土壁の環境価値等への説明及び代替措置の検討が必要 ・現在の自然を残した整備にしてほしい ・環境保全上は、階段護岸は避け緑地が望ましい ・堤防趾縮退には既設護岸の在来野草を盛土表面に移植する等、環境に配慮が必要 ・土手に安全できれいなトイレのある飲食店が整備されると良い ・堤防を拡張して体育館とつながると良い ・荒川公園から荒川まで連続した緑の空間を創りたい ・堤防上または新体育館に体が不自由な人に配慮した観覧席やVIP用の観覧席が整備されると良い ・堤内堤間の盛土整備による道路への影響や法面崩れによる住宅への影響が心配
E-3	・堤防拡張による体育館（遊藝場）や荒川公園との一体整備、賑わい空間の創出	
E-4	・イベント時の雑踏事故防止に配慮した動線整備	・イベント時の雑踏事故防止に配慮した動線整備、堤防道路や階段の整備が必要
E-5	・堤防法面の階段式護岸（観覧席）の整備	・階段式護岸になると花火が見やすくなり良い。川側だけでなく両側にも階段を設けたいと事故の危険等が懸念される ・階段式護岸は安全で利用しやすい ・高齢者の方が安心して利用できる階段、階段（手すり付き）、スロープを設置してほしい ・バリアフリーに対応したスロープがあると車椅子でアクセスがしやすくなる ・現状の荒川内側の坂路は過く、坂路の勾配が急で、車椅子では移動が困難 ・スロープは、自由に通行しやすくなるような位置に配置が必要（高齢者利用、車椅子利用、ベビーカー利用等） ・堤防から水辺までの連続したアクセスしやすい整備が必要 ・遠方からの来訪者などのための駐車場のアクセス路の整備やトイレがあると利用しやすい
F-2	・子供、高齢者、障がい者の誰もが利用しやすい移動環境の充実	・堤防上の道路の自転車（スポーツバイク）と歩行者の通行空間の分離等の歩行者の安全対策が必要 ・堤防上または新体育館に体が不自由な人に配慮した観覧席やVIP用の観覧席が整備されると良い ・散策コースとしてとても魅力があるコースであり、その魅力を知ってもらい、利用してほしい ・ランニングコース（堤防道路、高水敷）に点検等の後継利用の活用が必要
F-3	・堤防上道路の交通安全対策（自転車対歩行者）	
F-4	・体が不自由な人に配慮した花火等の観覧環境の充実	
G-3	・散歩コースとしての魅力の発信、市民利用の促進	
G-4	・ランニングコースの魅力の充実	
H-4	・新スポーツ・文化・健康の連携の魅力の充実（サイクリングロード）	・熊谷市は自転車乗りやすい環境で、荒川の上下流の緑地帯と連携を図る上で自転車は有効な要素と考える ・自転車に安全に利用できる緑地帯の整備があると良い ・サイクリングロードなどの自転車利用環境等を検討するにあたっては歩行者との安全対策に留意する必要がある ・サイクリングやスポーツ利用の人をさらに呼び込むことはとても良い ・案内看板など、来訪者への誘導を記載する等、工夫があると良い ・階段式護岸はスポーツ観戦で良い
H-5	・新スポーツ・文化・健康拠点機能の充実	
K-1	・熊谷桜堤の保全、継承	・熊谷桜堤は桜百選に指定されており、最新技術を駆使し必ず残してほしい ・桜並木は熊谷の大切な財産であり、（その保全）に配慮した計画づくりをしてほしい ・堤防天端に階段を設ける等して、桜堤の景観が損なわれるため、桜堤に影響するような整備は反対である ・桜並木の保全と堤防道路や階段護岸の工事の協力を考える必要がある ・斜面に植えている草の花がフコク科で斜面に広がり、花見をする場所を確保しづらい状況となっているため、場所を確保できるようにしてほしい ・かわまちづくり事業地内は市の占有地と見なし、一括で維持管理してほしい ・川表側に防護柵を設ける場合は、着脱式の洪水時の対応が可能な構造とする必要がある ・堤防道路を遊歩道にしたい ・天候の暴風は生物の移動の妨げになるため、野鳥の営巣期では柵を撤去しないように要望している
J-4	・堤防及び坂路の維持管理	
J-5	・坂路の改修（防護柵の設置）	
J-6	・堤防道路の改修	
水辺、河原		
D-6	・川と親しめる親水空間の魅力の充実と水辺の安全対策	・河原沿いを歩ける距離防止にも配慮した遊歩道があると良い ・親水施設整備の検討にあたり、荒川の河川特性（水辺の安全性）を踏まえる必要、利用者の安全対策が必要である
D-7	・自然学習、体験の場の保全や充実、学校連携の視点	・河原の石に関する自然学習で地質・生物・植物との連携がとれるのではないかと
D-8	・水辺の自然環境の保全、活用	・面的な整備等を考えるにあたっては、自然環境保全団体の意見を踏まえ、自然環境保全に配慮する必要がある ・水際の樹木の保全が必要（上下流の環境の連続性から重要な役割であり、軽減しないほしい） ・緑地の保全が重要（「南戸サイホン〜大下橋」はコアシサシの生態系として重要な場所であり、護岸工事によって壊れてしまう可能性があるため、30年以上前に発生している）
E-6	・水辺の魅力の充実	・夏に涼める水辺空間や、釣りなどをを楽しむ場所にする等、夏を満喫（体が不自由な人を除く）市民が楽しめる場所になると良い
E-7	・花火大会の観覧席の充実	・有料ラグビー場前の河原に生える樹林を伐採し、花火への見通しを確保したい
I-2	・子供の川遊びができる環境の充実	・暑い季節の子供が川で水遊びできる環境。魚を捕まえる等の自然との触れ合いが出来る環境を整備してほしい ・子供を安心して遊ばせられるような対策を打ってほしい
J-7	・荒川の維持管理上の課題	・流量観測地点の見直し等の確保

駐車場		
大	中	意見概要
H-6	・高水敷地内の駐車機能の充実	・河川敷地の駐車場の駐車容量の拡充 ・駐車設備による環境の悪化が懸念されることへの対策
いきいき広場		
C-5	・夏場の暑さ対策への配慮	・河川敷地内の高木の木陰を活かした涼める場所を作りたい
自由広場、ラグビー場（有料）、グラウンド		
E-8	・自由広場のイベント利用	・スポーツ以外を含め、イベント需要を把握し、必要な設備を準備する必要がある
H-7	・ラグビー場の一般利用の拡大	・歴史あるラグビー場であり、ラグビー協会から借り受けてほしいと要望があった ・ラグビー場（有料）は、ラグビー場としての価値を保つ観点から一般利用は難しい ・無料の自由広場については可能性として考えられる ・ラグビー場のあり方は、熊谷市の将来計画を踏まえる必要がある
高水敷全線（グラウンド、広場、河原）		
G-5	・散歩コースとしての魅力の充実	・富士山の見える下流の方までつながった遊歩道、来遊、トイレ、水辺等の休憩施設があると良い ・手軽なアウトドアが楽しめる施設があると良い ・有料バーベキュー場ができると市民に喜ばれると思う ・バーベキューのニーズは非常に大きく、問い合わせも多い ・近隣の公園で利用できるルールに準じたバーベキュー利用ができると良い ・バーベキュー場や花火ができる場所があると良い。しかし、制限が厳しいと利用しづらい。エリアとして利用可能な範囲を区画すると良いと思う ・バーベキューを可能とする場合には施設管理者及び消防関係者によるルール決めが必要である ・バーベキューを許可するのであれば、騒音やゴミの処理等が整備されるため、BQのルール決めを行い、行政で管理する必要がある ・バーベキュー場の設置はゴミの問題が懸念される。過去にコアシサシの草が破壊されることもあった ・草に草が入ると環境破壊につながる恐れがある ・まちおこしを目指し、人が集まる場所にするためには、若者が気軽に立ち寄れる場所や、行きやすいと思うランドマークなどがあると良い（荒川を望むオープンカフェ等）
E-9	・高水敷地内の魅力の充実（アウトドア、バーベキュー）	
E-10	・高水敷地内の魅力の充実（四季を彩る花）	・桜の季節以外に咲く花を植えたいと要望があった ・イベント利用のニーズはあり、地域団体、企業と連携が見込まれる ・人が集まるイベントであれば、キッチンカーの出店も必要である ・キッチンカーの出店は継続されているが、広い場所が必要 ・花火大会の観覧席の拡大、階段式護岸の整備、アクセス路の確保、運営本部スペースの確保 ・駐車スペース、電源、トイレ、定時の通信障害対策があるとイベントがしやすい ・釣りなどのイベントをして楽しめるものがあると良い ・イベント時の音響による住環境への影響への配慮 ・野鳥の営巣や森林公園でのイベントは行われているが、計画地はそこまで自然が多くないため、ソフト面のイベントを行うと良い
E-11	・高水敷地内の魅力の充実（イベント利用の推進）	
E-12	・音楽利用（練習等）	・音楽をやりたい人がいる一方で、静かにしてほしいという、解決できていないことがある
F-5	・体が不自由な人に配慮した花火等の観覧環境の充実	・車いすの人が利用できるような広い有料観覧席があると良い
F-6	・休憩施設の充実と案内の充実	・車椅子利用を考慮した休憩できるスペース（東園など）が欲しい
G-6	・ユニバーサルデザインのスポーツ環境づくり	・木道でベタコンを歩行できるスペースを整備してほしいという要望があった ・グラウンドの縮小により、自由に遊べる空間を作り出せるのではないかと ・小さな子供が遊ぶ遊具があると良い ・子ども達の遊ぶ空間とスポーツをする空間を分けると良い。直射日光対策（屋根）があると良い ・まち中の大きな公園として、子供イベント広場のような空間があると良い（ニーズがある） ・夏場水辺で親子連れが自然と遊べる空間があると良い（小さな川、橋、プール等の水遊びができる公園） ・子供が安心して使えるしつかりとしたトイレがあると良い ・ベビーカー等で徒歩で移動する主婦層が利用する広場を新から近い位置にすると良い ・自転車利用をしやすくなり、遊具等のレンタルサービスで、車でも来なくても手ぶらで手軽に楽しめるような空間、サービスがあると、子育て世代にとっても良い
I-3	・子供の遊び場の充実	
I-4	・親子で手軽に遊びに行ける工夫	
その他		
B-3	・生活道路の安全性	・小学校前の道の安全性の懸念
C-6	・花火大会時の周辺生活道路の混雑緩和	・花火大会時の周辺生活道路の混雑を緩和したい
C-7	・かわまちづくりにより増加する自動車交通や駐車需要への対応	・かわまちづくりにより人の行き来が増えることは良いが、併せて道路や駐車場の整備を行い渋滞の解消を図る必要がある
D-9	・荒川児童館の並木の保全	・荒川児童館の並木を残してほしいとの要望があった
J-8	・備品倉庫の確保	・新体育館にイベント時のテント等の備品を保管する確保を確保して、市民に貸し出してもらえると、イベント等が実施しやすくなる。防災にもつながる

注）赤字：留意事項、懸念点

かわまちづくり アンケート調査結果

熊谷市役所 建設部河川課

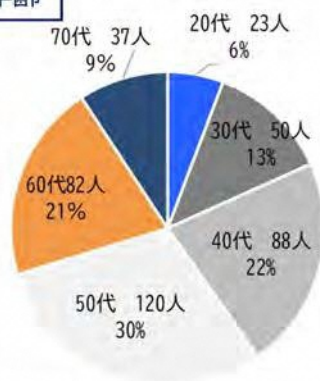
荒川緑地および周辺水辺等を対象とする「熊谷市荒川かわまちづくり計画(仮称)」の検討のため、熊谷市内に在住する皆様に、かわまちづくりに対するニーズについて、アンケート調査を行った。

- 期間 : 2023 年 11 月 20 日～2023 年 11 月 30 日
 ■対象 : 熊谷市内の在住者
 ■調査方法: Web モニターアンケート(リサーチ会社の有するモニターを対象とする調査)
 ■回答数 : 400 人
 ■調査項目: 対象エリア(案)の利用状況、かわまちづくりへの期待、問題箇所等に関する自由意見等

回答者の属性(n=400)

- 年齢は 50 代以上が半数以上を占めているが、性別、居住地を問わず、多くの方々にご回答いただいた。

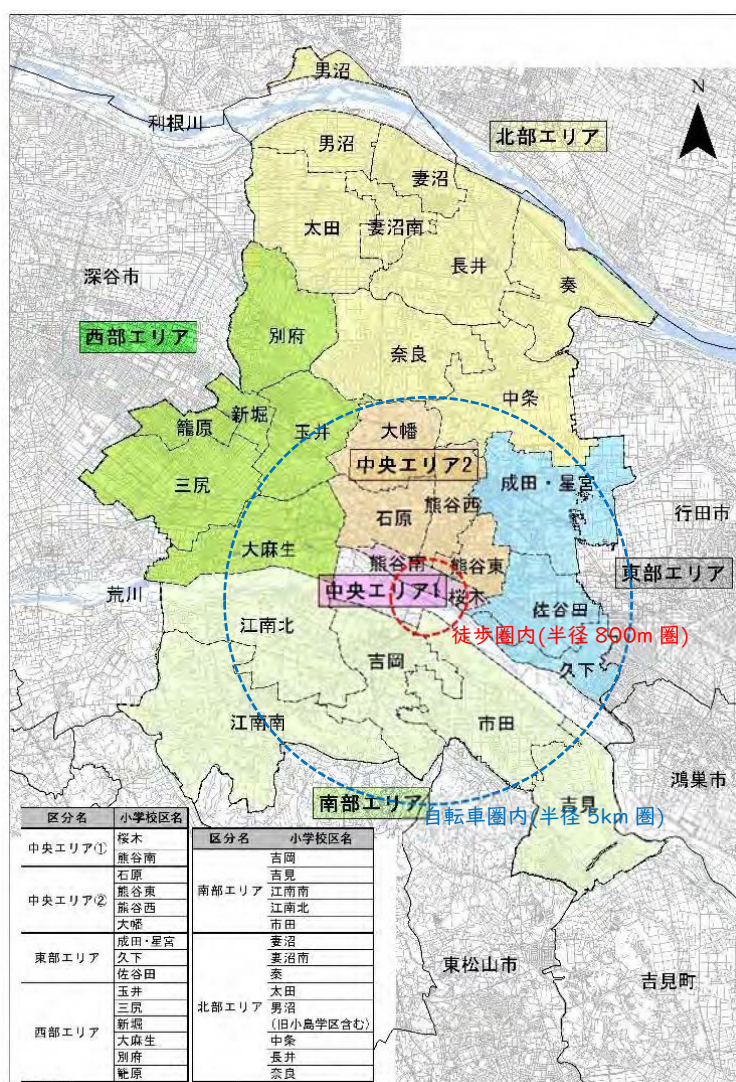
年齡



性別



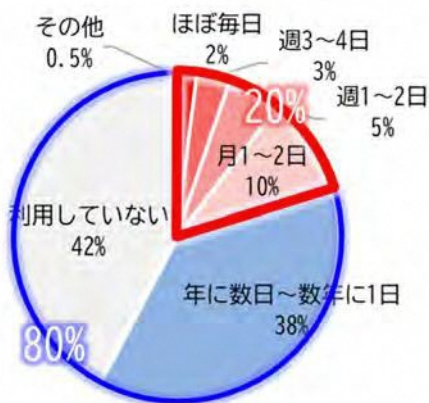
居住地



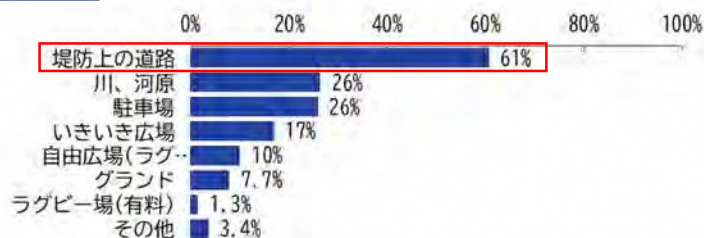
問 1 対象エリアの利用状況について

- 対象エリアを月 1～2 日以上利用している人が約 20%、年に数日～数年に 1 日以下の人が約 80%と利用頻度が少ない。
- 利用者の約 50%が堤防上の道路を散歩やジョギング利用や、お祭り・イベント利用を目的としている。

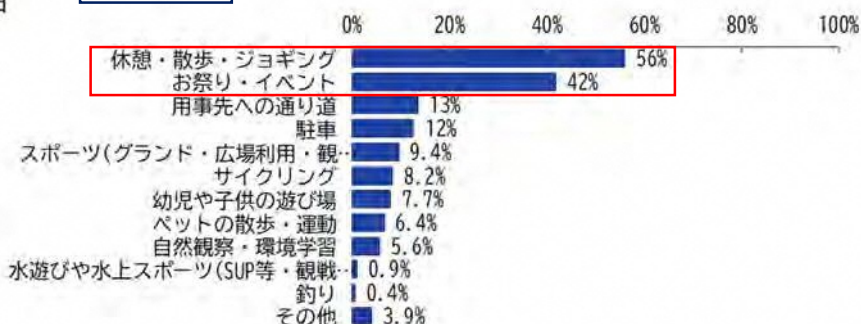
対象エリアの利用状況 (n=400)



利用場所 (n=233)



利用目的 (n=233)



問 2 対象エリアの魅力について

- 対象エリアの桜堤や花火大会、景観・眺望などに魅力を感じている人が多くみられる。
- 河川空間へのニーズは、「散歩・ジョギング・サイクリングの魅力の充実」や「休憩施設の充実」、「駐車場や坂路の整備」のニーズが高い。

対象エリアの魅力

(回答数)(n=233)	1位	2位	3位
桜堤がきれいなこと	87	55	23
熊谷花火大会、	35	58	36
景観、眺望が良いこと	35	34	30
芝生広場やグラウンドが充実	17	27	29
自然環境(野鳥、魚、草花)が豊かなこと	11	14	20
自然の中でスポーツや文化を楽しむこと	14	9	16
公園施設(いきいき広場等)が充実していること	5	9	20
荒川の水がきれいなこと	12	7	5
夕涼みなど、涼しさが感じられること	1	1	12
特になし	15	18	41
その他	1	1	1

魅力充実に向けて良くなってほしいこと

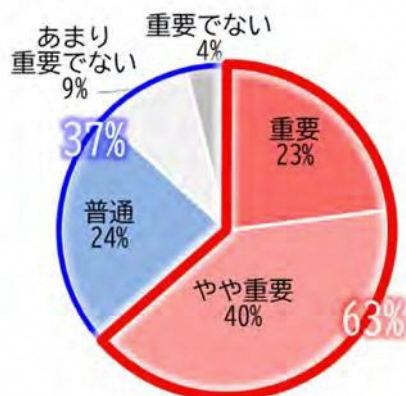
(回答数)(n=400)	1位	2位	3位
散歩・ジョギング・サイクリングの魅力の充実	65	65	35
休憩施設の充実(ベンチ、東屋など)	56	57	44
駐車場や坂路の整備	45	44	56
ゴミ対策や治安対策	47	36	34
夏場の暑さを和らげる親水施設の充実(せせらぎ水路・水遊び場など)	24	32	42
市民の憩いの場の充実(マルシェ、地域イベント、カフェ)	29	27	39
子供の遊び場の魅力の充実	34	22	25
バーベキューやキャンプの利用	26	22	27
自然との共生、環境学習の充実	15	26	33
バリアフリー環境の充実(スロープ、手すり、多機能トイレ)	19	29	20
スポーツ利用の魅力の充実、スポーツ文化の発信拠点	18	18	20
ドッグランなどペットとの触れ合いの魅力の充実	10	10	10
水上スポーツや釣りの魅力の充実	5	8	11
その他	7	4	4

問3 熊谷市荒川かわまちづくり計画(仮称)について

- 対象エリアの水辺空間の活用が熊谷市の活性化に**重要**と考えている人が約 60%と半数以上である。
- かわまちづくり計画に期待することとして、「**安心・安全に暮らせるまちの推進**」を1位で選ぶ人が最も多く、防災への関心が高い。第1～3位の合計の回答が多い項目として、順に「**快適で暮らしやすいまちづくり**」、「**環境に優しく自然豊かなまちづくりの推進**」が選ばれている。

熊谷駅周辺の魅力向上に
水辺空間を活かすことの重要性

(n=400)



かわまちづくり計画に期待すること

(n=400)

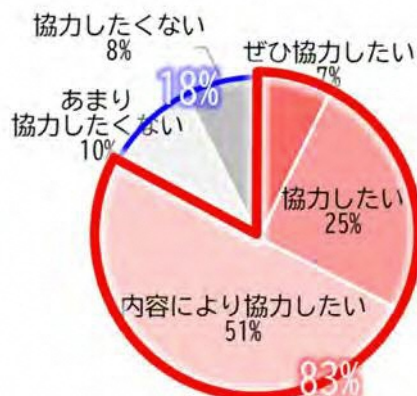
(回答数)(n=400)	1位	2位	3位
安心・安全に暮らせるまちの推進	150	56	53
快適で暮らしやすいまちづくりの推進	50	73	60
環境に優しく自然豊かなまちづくりの推進	43	45	59
活気と賑わいのある魅力的なまちの推進	48	49	33
子供、高齢者、障がい者等の誰もが暮らしやすいまちの推進	29	65	27
市民の健康づくりの場の推進	23	47	35
スポーツの魅力や文化の発信	14	15	52
子育て支援の環境づくりの推進	25	25	27
地域の文化・歴史の継承	9	10	26
地域コミュニティづくりの推進	6	12	25
その他	3	3	3

問4 かわまちづくり計画への参加について

- 魅力ある河川空間の充実や維持のためのイベント開催や維持管理へ約 80%の市民から協力的な意向が示されている。

イベント開催や維持管理への協力意向

(n=400)



※小数点以下四捨五入のため総計が 100%とならない

問5 かわまちづくり計画への自由意見

(n=400、意見数 111)

意見区分	意見数	主な意見の概要 ※()内の数値は意見数を示す
河川空間の利活用に関する意見	64	防災・治水対策(9) 自然環境の維持、創出(8) 親水・川遊び(6) 祭り・イベントの開催(4) 健康増進、散歩、ジョギング(4)、釣り(4) アクセスの充実(動線、公共交通、渋滞改善)(4) 施設・トイレの整備(4) 駐車場の整備(3) 誰もが過ごせる・利用したいと思える場づくり(3) 子供が川遊びできる等(3) 堤防道路や河川敷地内の歩行者の安全対策(3) アウトドア・スポーツを楽しむ場(3) ある場所の有効活用(3) 桜並木の保全維持(2)、公園樹木の保全(1)
まちづくりの方向性	13	独自性・持続性、未来を見据えた開発 賑わい、魅力、行きたいと思えるまちづくり 来訪者を呼び込むまちづくり 誰もが楽しめるまちづくり 誰もが安全安心なまちづくり 自然豊かな、景観を活かしたまちづくり
管理・マナー対策	9	適正な管理、増水時の対応(4) 治安維持(3)、ゴミやマナー対策(2)
計画づくりの進め方	9	市民・住民意見の反映、市民のための計画づくり(5) 市民への説明、関心(4)
河川空間の利活用への参加意向	6	参加協力したい(3) 清掃・美化運動の市民参加の環境づくり(3)
税金、予算	7	税金の使い方、有効な活用(5) 予算確保の方法(2)
その他	3	何も期待していない(1)、利用することはない(1) 大麻生方面にも力を入れてほしい(1)
意見数	111	